

■令和元年度におけるバス等の運行・利用状況

資料 3

1. 路線バス

平成30年10月～令和元年9月(バス補助年度)実績、佐田スクールバスは令和元年4月～令和2年3月(市会計年度)実績

分類	路線名	運行事業者名	系統数	運行回数	車両定員(人)	備考	利用状況				運行経費(千円) A	運行収入(千円) B	収支率(%) B/A	運行収支(千円) B-A	国・県補助金又は他市の負担額(千円)	市負担額(千円) ※県交付金を含む	利用者1人あたり 運行経費(円/人)	利用者1人あたり 市負担額(円/人)
							利用者数(人)	片道換算 運行便数	1便あたり利用 者数(人/便)	年間実車走 行距離(km)								
自主運行路線	小田線	一畑バス	1	3往復	54		22,569	2,190	10.3	46,805	15,404	6,449	41.9	-8,955	0	8,955	683	397
	大社線	一畑バス	2	21.5往復	54・73	国庫補助路線	152,574	15,587	9.8	216,454	71,237	55,108	77.4	-16,129	8,751	7,377	467	48
	日御碕線	一畑バス	3	8往復	54・73	直3.5往復、経由4.5往復	53,820	7,294	7.4	102,419	33,707	17,997	53.4	-15,711	0	15,708	626	292
	須佐線	一畑バス	2	7往復	54	国庫補助路線	42,868	4,614	9.3	109,265	35,960	20,546	57.1	-15,414	4,294	11,119	839	259
	波根線	石見交通	3	7往復	54	国庫補助路線	23,354	5,037	4.6	90,735	19,893	10,338	52.0	-9,554	9,519	35	852	1
自主運行路線計							295,185	34,722	8.5	565,678	176,201	110,438	62.7	-65,763	22,564	43,194	597	146
運行委託路線	大寺線	スサノオ観光	2	4.5往復	25		7,048	2,934	2.4	32,276	9,209	1,439	15.6	-7,770		7,770	1,307	1,102
	根波線	スサノオ観光	2	4往復	29	雲南市との共同運行路線	4,244	2,636	1.6	34,059	9,512	1,388	14.6	-8,123	1,625	6,499	2,241	1,531
	外園線	スサノオ観光	1	4往復	36		7,020	3,118	2.3	28,419	8,899	2,096	23.6	-6,802		6,802	1,268	969
	平成温泉線	スサノオ観光	3	7往復	28		7,367	5,026	1.5	43,942	10,130	1,216	12.0	-8,915		8,915	1,375	1,210
	三刀屋出雲線	谷本ハイヤー	2	5往復	40	雲南市との共同運行路線	7,324	2,640	2.8	60,959	9,778	4,257	43.5	-5,522	2,504	3,018	1,335	412
	うさぎ線	出雲観光タクシー	2	5往復	10		2,970	3,120	1.0	49,560	10,507	1,076	10.2	-9,431		9,431	3,538	3,175
	平田生活バス	地合線	出雲市都市公社	3	19便	29		19,194	5,299	3.6	93,832	22,345	2,512	11.2	-19,833		19,833	1,164
	坂浦線	出雲市都市公社	2	22便	59,25		19,734	6,216	3.2	95,146	22,658	3,780	16.7	-18,878		18,878	1,148	957
	塩津線	出雲市都市公社	1	15便	29,25	スクール便を含む	7,055	3,465	2.0	52,295	12,453	1,085	8.7	-11,368		11,368	1,765	1,611
	北浜線	出雲市都市公社	1	13便	29		9,105	3,939	2.3	54,537	12,987	1,605	12.4	-11,382		11,382	1,426	1,250
	鱒淵線	出雲市都市公社	2	16便	29,14		7,513	4,542	1.7	68,186	16,238	1,320	8.1	-14,918		14,918	2,161	1,986
	島村線	出雲市都市公社	2	6便	29		5,016	1,674	3.0	19,994	4,761	512	10.7	-4,250		4,250	949	847
	鹿園寺線	出雲市都市公社	1	6便	29		2,411	1,440	1.7	14,544	3,463	185	5.4	-3,278		3,278	1,437	1,360
	一畑薬師線	出雲市都市公社	2	15便	29		5,376	4,302	1.2	20,993	4,999	553	11.1	-4,447		4,447	930	827
	猪目線	出雲市都市公社	1	10便	15		4,962	2,400	2.1	33,600	8,001	640	8.0	-7,362		7,362	1,613	1,484
小計							80,366	33,277	2.4	453,126	107,907	12,191	11.3	-95,716		95,716	1,343	1,191
佐田生活福祉バス	朝原線	スサノオ観光	1	火金・1往復	9	予約	138	82	1.7	604	483	25	5.1	-458		458	3,500	3,320
	原田線	スサノオ観光	1	水土・1往復	9	予約	109	85	1.3	701	502	22	4.3	-480		480	4,608	4,408
	大呂線	スサノオ観光	1	月木・1往復	9		388	180	2.2	2,817	1,366	76	5.6	-1,290		1,290	3,520	3,324
	毛津線	スサノオ観光	1	水土・1往復	9	予約	53	52	1.0	349	232	11	4.6	-222		222	4,386	4,186
	佐津目線	スサノオ観光	1	水土・1往復	9	予約	337	153	2.2	1,528	915	67	7.4	-848		848	2,715	2,515
	窪田橋波線	スサノオ観光	1	月木・1往復	9		566	180	3.1	4,824	1,411	94	6.6	-1,317		1,317	2,493	2,327
	城川西山中線	スサノオ観光	1	火金・1往復	9		1,021	198	5.2	6,493	2,006	204	10.2	-1,802		1,802	1,965	1,765
	小計							2,612	930	2.8	17,316	6,915	498	7.2	-6,417		6,417	2,648
佐田スクールバス(一般混乗)	スサノオ観光	6	朝1夕3	60,29	利用者数は児童・生徒を除く推計値		2,000	8,358	14.1	206,496	64,684	2,732	4.2	-61,952		61,952	32,342	30,976
多伎循環バス	富山線	やくも観光	1	8便	28,14		5,034	2,872	1.8	55,918	10,306	697	6.8	-9,609		9,308	2,047	1,849
	蔵谷線	やくも観光	1	12便	28,14		7,402	3,718	2.0	55,398	10,224	1,025	10.0	-9,199		9,199	1,381	1,243
小計							12,436	6,590	1.9	111,316	20,531	1,723	8.4	-18,808		18,808	1,651	1,512
運行委託路線計							133,387	68,629	1.9	1,037,469	258,072	28,616	11.1	-229,456	0	225,328	1,935	1,689
合計							428,572	103,351	4.1	1,603,147	434,273	139,054	32.0	-295,219	22,564	268,522	1,013	627

2. 年齢や障がいの有無等により利用者が限定される移動サービス

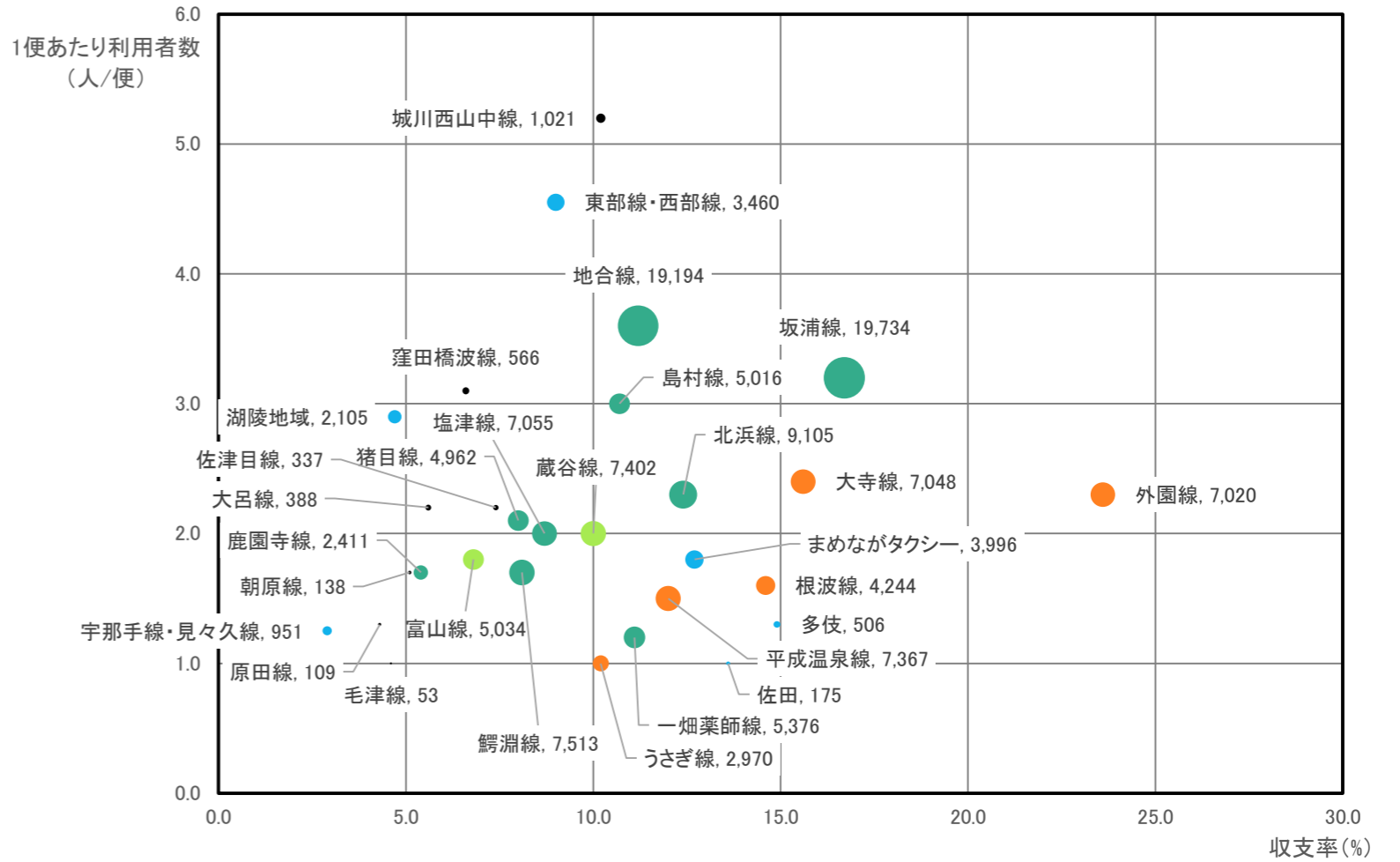
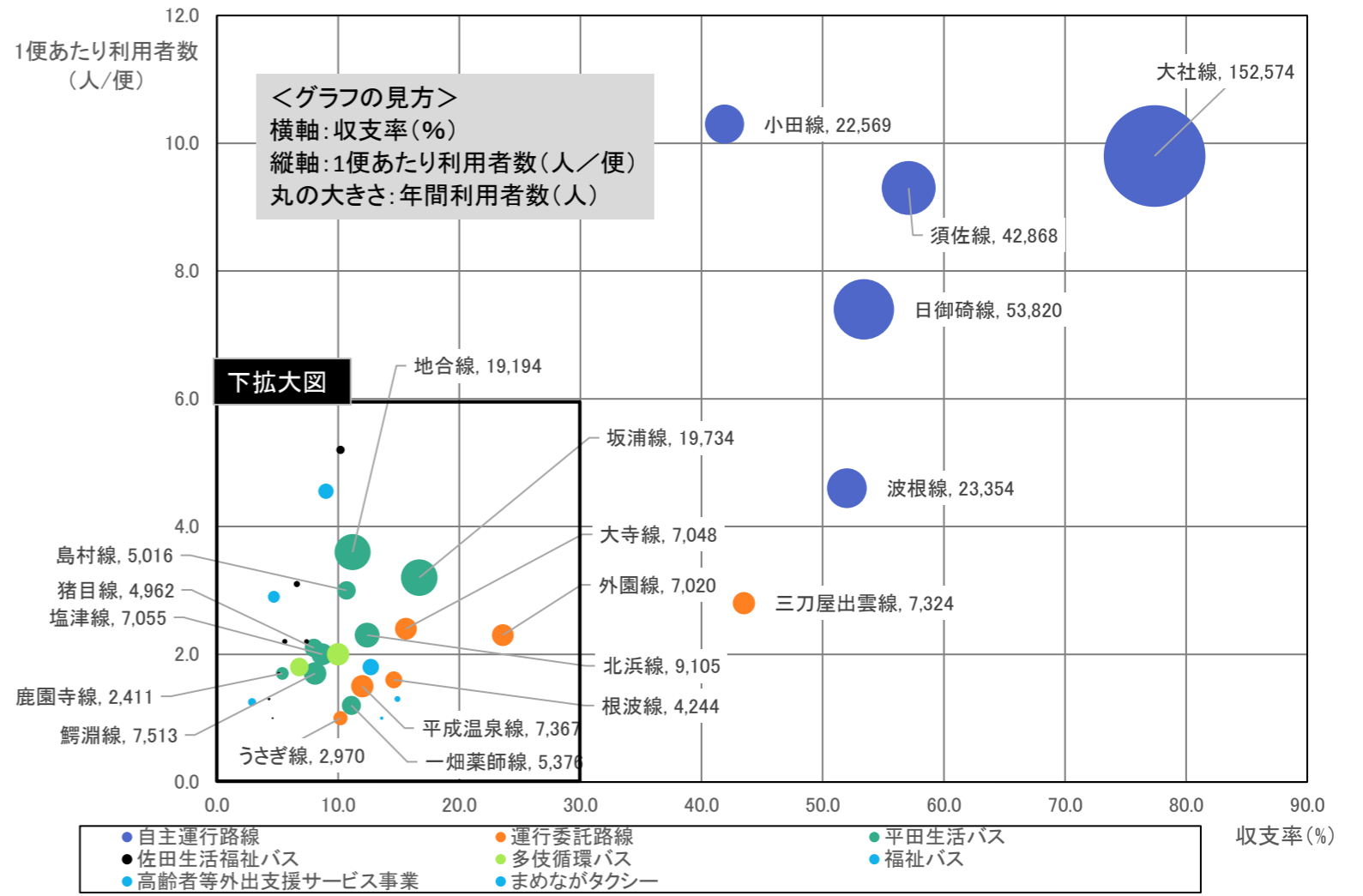
令和元年4月～令和2年3月(市会計年度)実績

分類	路線名	運行事業者名	系統数	運行回数	車両定員(人)	備考	利用状況				運行経費(千円) A	運行収入(千円) B	収支率(%) B/A	運行収支(千円) B-A	国・県補助金又は他市の負担額(千円)	市負担額(千円)	利用者1人あたり 運行経費(円/人)	利用者1人あたり 市負担額(円/人)
							利用者数(人)	片道換算 運行便数	1便あたり利用 者数(人/便)	年間実車走 行距離(km)								
福祉バス	東部線・西部線	出雲一畑交通	1	2往復	9	東部線:火金、西部線:月水	3,460	760	4.6	13,413	3,858	346	9.0	-3,512		3,512	1,115	1,015
	宇那手線・見々久線	谷本ハイヤー	1	2往復	9	宇那手線:火木、見々久線:月水	951	760	1.3	15,186	3,322	95	2.9	-3,227		3,227	3,493	3,393
	湖陵地域	谷本ハイヤー	1	平日3便	9		2,105	717	2.9	26,959	4,487	211	4.7	-4,277		4,277	2,132	2,032
小計							6,516	2,237	2.9	55,558	11,667	652	5.6	-11,015		11,015	1,790	1,690
高齢者等外出支援サービス事業	多伎	ボランティアネットたき	1	週5日	5	予約制、10回/月	506	377	1.3	8,147	1,110	166	14.9	-944		944	2,193	1,865
	佐田	グリーンワーク	1	週5日	5	予約制、2回/月	175	167	1.0	5,902	1,139	155	13.6	-984		984	6,510	5,622
小計							681	544	1.3	14,049	2,249	321	14.3	-1,928		1,928	3,303	2,831
まめながタクシー	斐川タクシー、足立運送		6	週5日	9	予約制	3,996	2,232	1.8	69,607	12,527	1,590	12.7	-10,938		10,938	3,135	2,737
合計							11,193	5,013	2.2	69,607	26,443	2,563	9.7	-23,880	0	23,880	2,362	2,134
総計							439,765	108,364	4.1	1,672,754	460,716	141,617	30.7	-319,099	22,564	292,402	1,048	665

■令和元年度におけるバス等の収支率と1便あたり利用者数

分類	路線名	X軸	Y軸	丸の大きさ	市負担額 (千円) ※県交付 金を 含む	利用者1 人あたり 運行経費 (円/人)	利用者1 人あたり 市負担額 (円/人)	
		収支率 (%) B/A	1便あたり 利用者数 (人/便)	利用者数 (人)				
自主運行路線	小田線	41.9	10.3	22,569	8,955	683	397	
	大社線	77.4	9.8	152,574	7,377	467	48	
	日御碕線	53.4	7.4	53,820	15,708	626	292	
	須佐線	57.1	9.3	42,868	11,119	839	259	
	波根線	52.0	4.6	23,354	35	852	1	
運行委託路線	大寺線	15.6	2.4	7,048	7,770	1,307	1,102	
	根波線	14.6	1.6	4,244	6,499	2,241	1,531	
	外園線	23.6	2.3	7,020	6,802	1,268	969	
	平成温泉線	12.0	1.5	7,367	8,915	1,375	1,210	
	三刀屋出雲線	43.5	2.8	7,324	3,018	1,335	412	
	うさぎ線	10.2	1.0	2,970	9,431	3,538	3,175	
平田生活バス	地合線	11.2	3.6	19,194	19,833	1,164	1,033	
	坂浦線	16.7	3.2	19,734	18,878	1,148	957	
	塩津線	8.7	2.0	7,055	11,368	1,765	1,611	
	北浜線	12.4	2.3	9,105	11,382	1,426	1,250	
	鰐淵線	8.1	1.7	7,513	14,918	2,161	1,986	
	島村線	10.7	3.0	5,016	4,250	949	847	
	鹿園寺線	5.4	1.7	2,411	3,278	1,437	1,360	
	一畑薬師線	11.1	1.2	5,376	4,447	930	827	
	猪目線	8.0	2.1	4,962	7,362	1,613	1,484	
	佐田生活福祉バス	朝原線	5.1	1.7	138	458	3,500	3,320
		原田線	4.3	1.3	109	480	4,608	4,408
大呂線		5.6	2.2	388	1,290	3,520	3,324	
毛津線		4.6	1.0	53	222	4,386	4,186	
佐津目線		7.4	2.2	337	848	2,715	2,515	
窪田橋波線		6.6	3.1	566	1,317	2,493	2,327	
城川西山中線		10.2	5.2	1,021	1,802	1,965	1,765	
佐田スクールバス(一般混乗)	4.2	14.1	2,000	61,952	32,342	30,976		
多伎循環バス	富山線	6.8	1.8	5,034	9,308	2,047	1,849	
	蔵谷線	10.0	2.0	7,402	9,199	1,381	1,243	
福祉バス	東部線・西部線	9.0	4.6	3,460	3,512	1,115	1,015	
	宇那手線・見々久線	2.9	1.3	951	3,227	3,493	3,393	
	湖陵地域	4.7	2.9	2,105	4,277	2,132	2,032	
高齢者等外出支援サービス事業	多伎	14.9	1.3	506	944	2,193	1,865	
	佐田	13.6	1.0	175	984	6,510	5,622	
まめながタクシー	12.7	1.8	3,996	10,938	3,135	2,737		

1便あたり運行経費と1便あたり市負担額は、金額の大きいものから上位10位までを赤色で表示



■その他の移動支援策

番号	事業名	担当課	事業概要	R2年度決算額 (千円) A	R2年度利用者数 (人) B	A/B (円/人)	対象地域							備考		
							対象者	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社		斐川	
1	老老介護支援事業	高齢者福祉課	老老介護世帯や要介護状態の一人暮らしの高齢者の負担を軽減するために、生活支援サービス利用券を一人あたり年間36,000円分交付	11,795	643	18,344	・老々介護世帯 ・要介護状態の一人暮らしの高齢者	○	○	○	○	○	○	○	○	利用者数は交付世帯数
2	高齢者在宅福祉事業 (高齢者福祉タクシー事業)	高齢者福祉課	タクシー利用券を一人あたり年間12,000円分交付 ※高齢者外出支援サービス事業の対象地域である佐田・多伎・斐川地域を除く	1,304	123	10,602	70歳以上の高齢者のみの世帯で、自家用車が無く、自宅から最寄りの駅やバス停まで500m以上の距離がある住民税非課税世帯	○	○			○	○			利用者数は交付件数
3	高齢者の交通事故防止対策事業	防災安全課	運転免許を自主返納した高齢者へバス・タクシー等5,000円分の利用券を交付 ※1人1回限り	2,002			運転免許を自主返納した高齢者	○	○	○	○	○	○	○		
4	障がい者福祉タクシー事業	福祉推進課	在宅の重度障がい者等を対象に、障がいの程度に応じて36～144枚のタクシー券(1枚500円分の利用券)を交付	24,169	1,844	13,107	・重度障がい者 ・住民税非課税	○	○	○	○	○	○	○	○	1～3の事業に比べて、利用対象者が限定される 利用者数は交付人数
5	腎臓機能障がい者通院費助成事業	福祉推進課	人工透析患者のうち自宅から医療機関まで片道5km以上の者を対象に、距離に応じて通院1回あたり250～1,500円を助成	9,830	179	54,916	人工透析患者のうち、自宅から医療機関まで片道5km以上の者	○	○	○	○	○	○	○	○	1～3の事業に比べて、利用対象者が限定される 利用者数は助成対象者数
6	移動支援給付事業	福祉推進課	移動支援事業 障がい福祉サービス利用時の送迎、余暇活動、その他社会参加のための外出の支援	69,732	369	188,976	障がい者	○	○	○	○	○	○	○	○	1～3の事業に比べて、利用対象者が限定される 利用者数は実人数

令和3年度 市民満足度調査及び 高校生アンケート調査結果 (概要版)

目次

I. 市民満足度調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査の対象・調査方法	1
(4) 調査実施時期	1
(5) 調査票回収状況	1
II. 市民満足度調査の結果概要	2
(1) 出雲市の住みやすさ・定住意向	2
(2) 市の施策・取組についてのニーズ度（重要度・満足度）	3
(3) ニーズマップ	5
III. 高校生アンケート調査の概要	7
(1) 調査目的	7
(2) 調査内容	7
(3) 調査の対象・調査方法	7
(4) 調査実施時期	7
(5) 調査票回収状況	7
IV. 高校生アンケート調査の結果概要	8
(1) 出雲市に愛着や魅力・誇りを感じるか	8
(2) 出雲市への定住意向	8
(3) 将来の出雲市について	11

令和3年12月

出雲市 総合政策部 政策企画課

I. 市民満足度調査の概要

(1) 調査目的

出雲市の施策や取組に対する重要度や満足度、定住意向などについて、市民の意識を把握し、現行計画の評価や次期総合振興計画策定のための基礎資料とします。

(2) 調査内容

- 個人属性（性別、年齢、国籍、居住地域、居住年数）
- 出雲市の住みやすさ、定住意向
- 市の施策・取組についての重要度、満足度（全61項目）
都市基盤・機能（11項目） / 産業・経済（9項目） / 教育・文化（9項目）
健康・福祉（8項目） / 生活環境（7項目） / 安心・安全（5項目）
まちづくり、行政サービス（12項目）
- 市の施策や取組のうち、今後特に重要で、かつ不十分であると思う項目、
またその理由
- 思い描く出雲市の将来像を表すキャッチコピー、言葉
- 自由意見

(3) 調査の対象・調査方法

市内在住の18歳以上の方（外国人住民含む）の中から無作為に抽出した4,000名
市民満足度調査票を郵送にて配布、無記名で回答いただき、WEBまたは郵送にて回答

(4) 調査実施時期

令和3年（2021）9月24日～10月10日

(5) 調査票回収状況


送付数	回収数	回収率
4,000	1,718	43.0%

※内訳 郵送回答 1,188(日本語 1,178 / ポルトガル語 8 / 英語 2)
WEB回答 530(日本語 515 / ポルトガル語 15 / 英語 0)

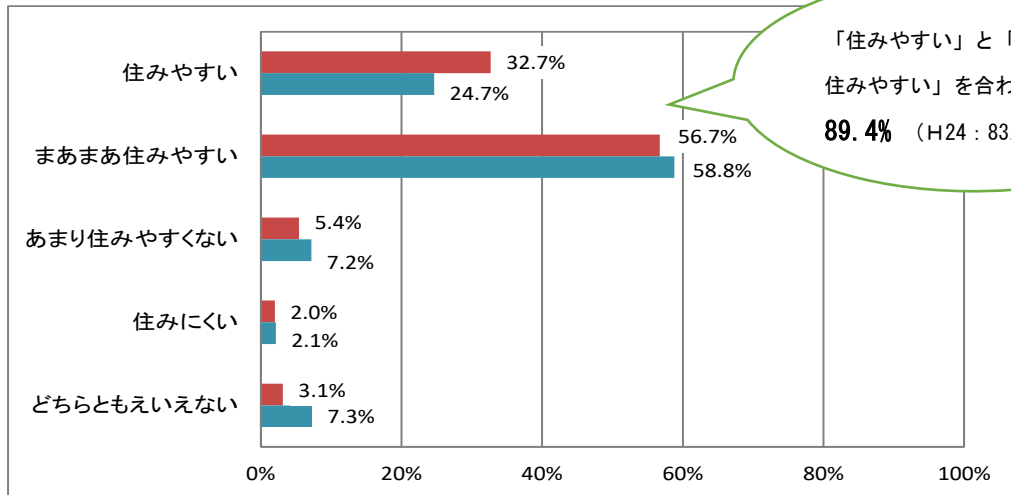
Ⅱ. 市民満足度調査の結果概要

(1) 出雲市の住みやすさ・定住意向

●出雲市の住みやすさについて、どのようにお感じですか。

今回 (R3) 

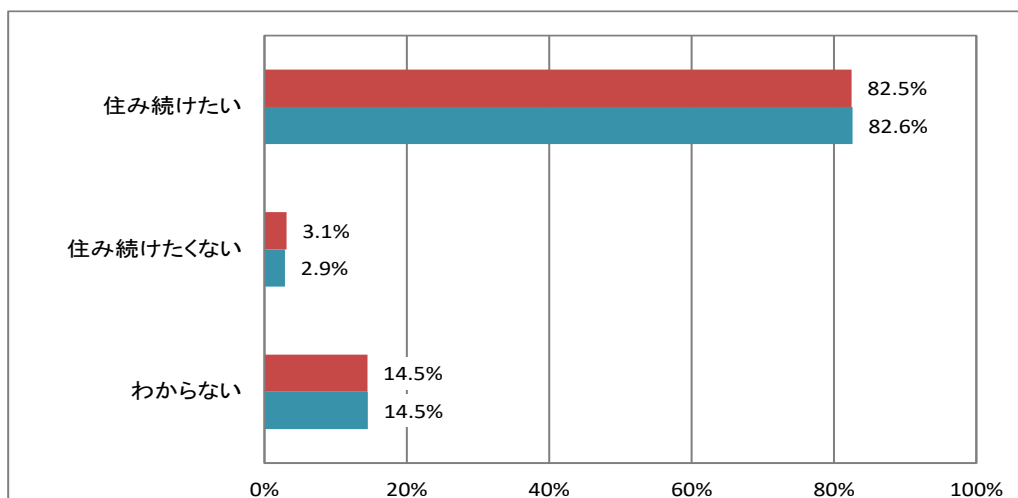
(H24) 



●これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。

今回 (R3) 

(H24) 



約9割の方が「住みやすい（まあまあ住みやすい）」と回答
H24から約6%増加

- 「住みやすい」と回答した人の割合は32.7%で、平成24年度調査と比べて8.0ポイント増加しました。「まあまあ住みやすい」とあわせると、回答者の89.4%が「住みやすい」と回答しています。
- 「これからも出雲市に住み続けたい」と回答した人は82.5%で、平成24年度調査（82.6%）と同程度となりました。

(2) 市の施策・取組についてのニーズ度（重要度・満足度）

■ 各施策の重要度、満足度について、アンケート調査結果を点数化することによって評価
 ≪各項目ごとに色分け≫

都市基盤・機能について	生活環境について
産業・経済について	安心・安全について
教育・文化について	まちづくり、行政サービスについて
健康・福祉について	

①【重要度 上位10項目】※重要度が高い順

令和3年度 重要度上位10項目	点数	平成24年度 重要度上位10項目	点数
消防、救急体制の充実・強化	87.0	病院、診療所等の充実	85.8
義務教育(小中学校)の充実	84.8	消防、救急体制の充実・強化	83.7
防災体制の充実・強化	84.6	防災体制の充実・強化	80.2
病院、診療所等の医療施設の充実	84.4	幼児教育、義務教育	79.5
ごみの収集、減量やリサイクルなどの取組	80.7	就職支援の取組み	77.7
子育て支援の充実	79.9	ごみの収集、減量やリサイクル	75.3
保健施策の充実	79.8	保健施策の充実	73.8
防犯に関する取組	79.0	子育て支援の充実	73.8
交通安全対策の充実	77.9	交通安全対策の充実	72.6
幼児教育の充実	77.4	防犯に関する取組み	72.4

- 今回調査と平成24年度調査のどちらも、重要度が高い上位10項目のうち4項目を「安心・安全」分野が、3項目を「健康・福祉」分野がそれぞれ占めています。
- 平成24年度調査と比較すると、「就職支援の取組」が上位10項目から外れています。

②【満足度 下位10項目】※満足度が低い順

令和3年度 満足度下位10項目	点数	平成24年度 満足度下位10項目	点数
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	△ 34.0	就職支援の取組み	△ 46.3
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	△ 27.8	新エネルギーの利用促進	△ 37.5
就職支援の取組	△ 22.3	バスの利用しやすさ	△ 35.0
周辺地域の整備	△ 21.0	企業誘致の取組み	△ 31.5
企業誘致による雇用の拡大	△ 18.9	歩道整備などバリアフリー	△ 30.0
義務教育(小中学校)の充実	△ 18.8	観光客誘客	△ 26.7
農業振興の取組	△ 17.3	定住促進に関する取組み	△ 25.9
公共交通機関(JR)の利用しやすさ	△ 16.5	林業振興の取組み	△ 25.8
高速道路など広域的な道路網の整備	△ 16.4	商工業振興の取組み	△ 23.6
林業振興の取組	△ 13.9	観光施設の整備、活用	△ 22.7

- 「都市基盤・機能」分野と、「産業・経済」分野の満足度が低い傾向にあります。
- 「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」は、点数としては平成24年度と大きくは変わりませんが、今回調査では満足度が最も低くなっています。
- 下位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が7項目から4項目に減少する一方で、「都市基盤・機能」分野が2項目から5項目に増えています。

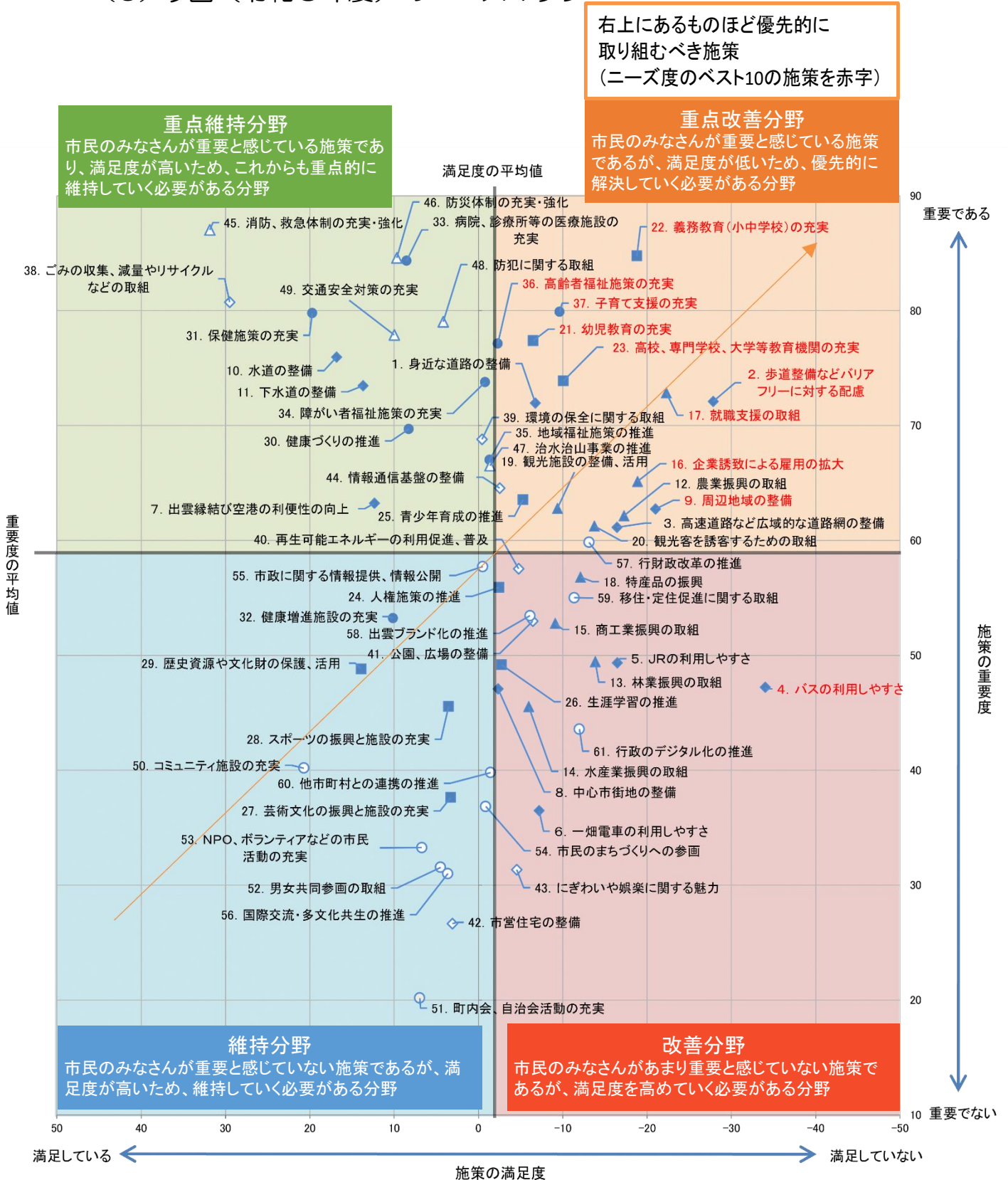
③ 【ニーズ度 上位10項目】 ※ニーズ度＝①重要度-②満足度

令和3年度 ニーズ度上位10項目	点数	平成24年度 ニーズ度上位10項目	点数
義務教育(小中学校)の充実	103.5	就職支援の取り組み	124.0
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	99.9	新エネルギーの利用促進	98.5
就職支援の取組	95.1	歩道整備などバリアフリー	95.2
子育て支援の充実	89.5	観光客誘客	93.1
企業誘致による雇用の拡大	84.0	企業誘致の取り組み	90.9
高校、専門学校、大学等教育機関の充実	84.0	観光施設の整備、活用	86.4
幼児教育の充実	83.9	子育て支援の充実	86.1
周辺地域の整備	83.7	定住促進に関する取り組み	82.4
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	81.2	高齢者福祉施策の充実	81.3
高齢者福祉施策の充実	79.4	幼児教育、義務教育	79.1

平成24年度調査において「産業・経済」分野に分類されている「新エネルギーの利用促進」は、令和3年度調査では同じ分野・名称の項目が無く、「生活環境」分野に「再生可能エネルギーの利用促進」という項目があります。

- 「都市基盤・機能」分野や「教育・文化」分野のニーズ度が高い傾向にあります。
- 上位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が少なくなり、「都市基盤・機能」分野と「教育・文化」分野の項目が増えています。
- 項目ごとにみると、「高校、専門学校、大学等教育機関の充実」、「周辺地域の整備」、「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」が新たに入り、「新エネルギーの利用促進、普及」、「観光施設の整備、活用」、「観光客を誘客するための取組」、「定住促進に関する取組」が外れています。

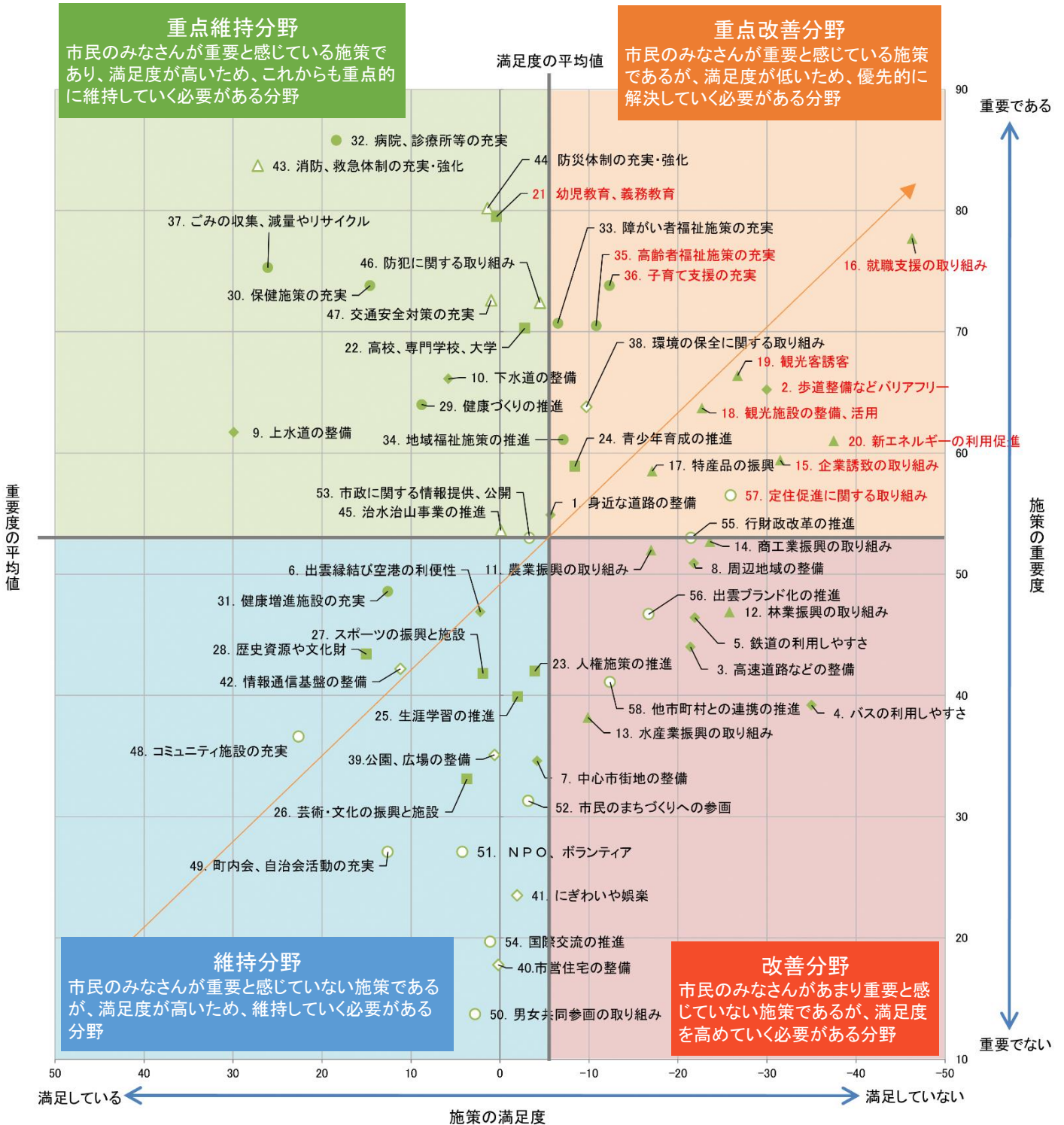
(3) 今回（令和3年度）のニーズマップ



- ◆ 都市基盤・機能について
- ▲ 産業・経済について
- 教育・文化について
- 健康・福祉について
- ◇ 生活環境について
- △ 安心・安全について
- まちづくり、行政サービスについて

平成24年度のニーズマップ

右上にあるものほど優先的に
取り組むべき施策
(ニーズ度のベスト10の施策を赤字)



- ◆ 都市基盤・機能について
- ▲ 産業・経済について
- 教育・文化について
- 健康・福祉について
- ◇ 生活環境について
- △ 安心・安全について
- まちづくり、行政サービスについて

Ⅲ. 高校生アンケート調査の概要

(1) 調査目的

市内の高校生を対象に、現在の出雲市や将来に対する思いや考え、まちづくりへの提案などについて調査し、次期出雲市総合振興計画策定のための基礎資料とします。

(2) 調査内容

- 個人属性（性別、居住地域）
- 出雲市に愛着、魅力・誇りを感じるか
- 出雲市の「良いところ、自慢や誇りに思うところ（もの・こと）」
- 出雲市の「不足しているところ、改善したほうが良いところ（もの・こと）」
- 出雲市に住み続けたいと思いますか ※出雲市在住者のみ回答
- 出雲市に住み続けたい、または一度は市外へ出て戻って住みたい理由
- 出雲市に住みたくない（市外に出て、出雲市には戻らない）理由
- 希望する居住地
- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組
- 出雲市長だったら、「めざしたいまち」、「取り組みたいこと」
- 出雲市の未来を表すキャッチコピー、キーワード

(3) 調査の対象・調査方法

市内の高等学校8校に通う3年生
学校を通じて調査票を配布・回収（回答は無記名）

(4) 調査実施時期

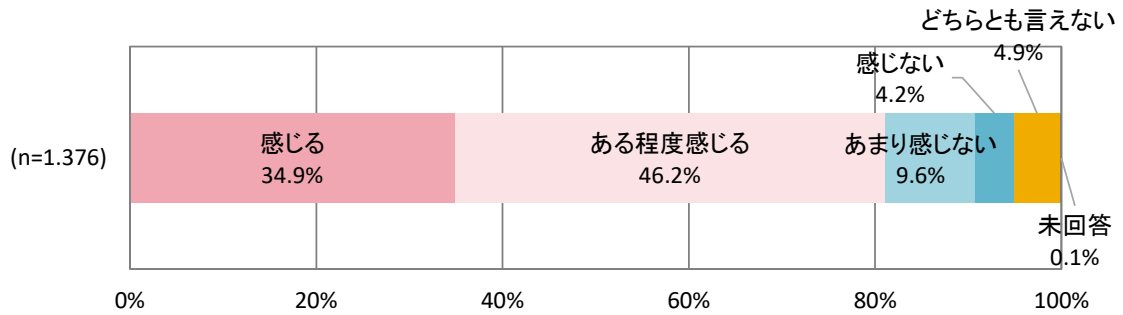
令和3年（2021）9月～10月

(5) 調査票回収状況

回収数：1,376人

IV. 高校生アンケート調査の結果概要

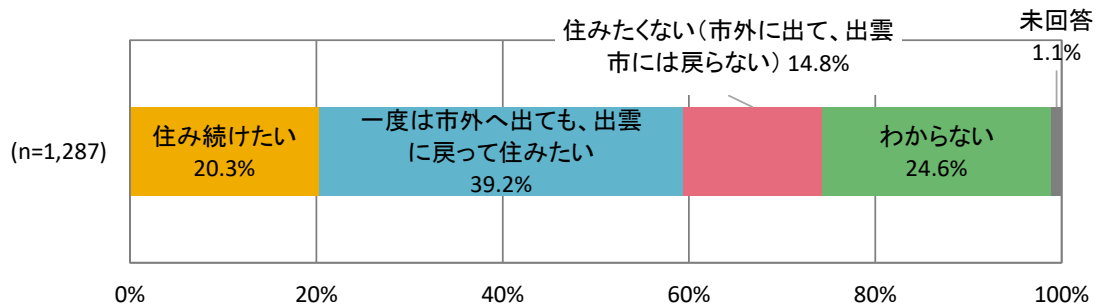
(1) 出雲市に愛着や魅力・誇りを感じるか



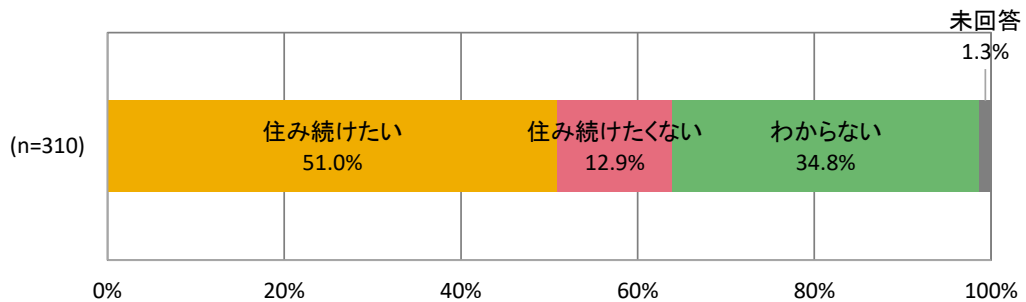
- 「ある程度感じる」が46.2%で最も高く、「感じる」とあわせると81.1%となり、全体の8割強が「愛着や魅力・誇りを感じる」と回答しています。

(2) 出雲市への定住意向

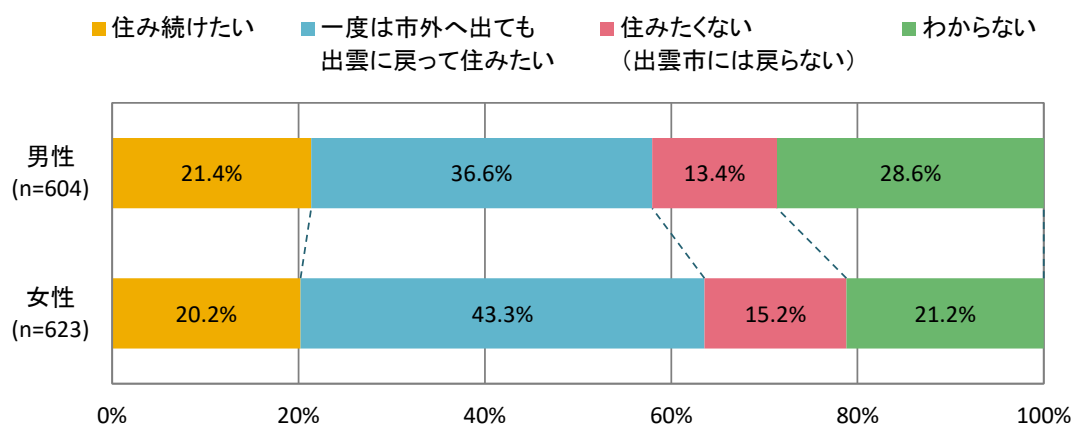
- これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。(出雲市にお住まいの方のみ)



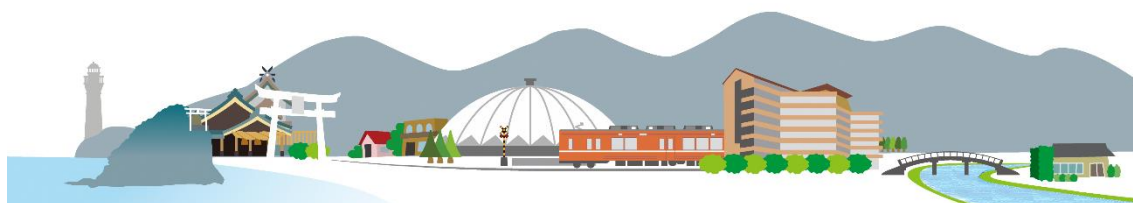
参考：平成24年度調査



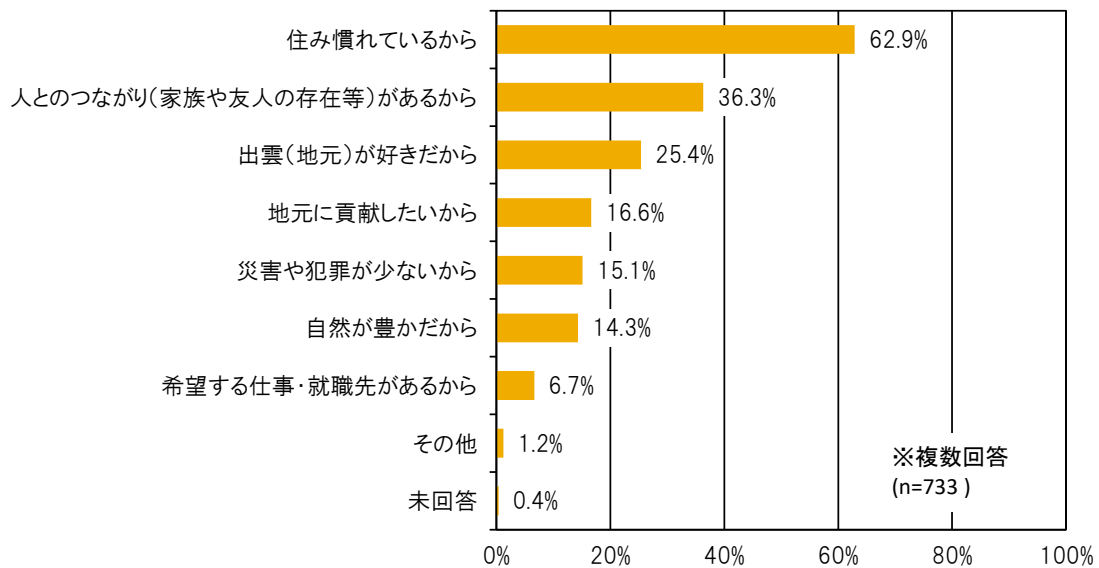
【男女別】



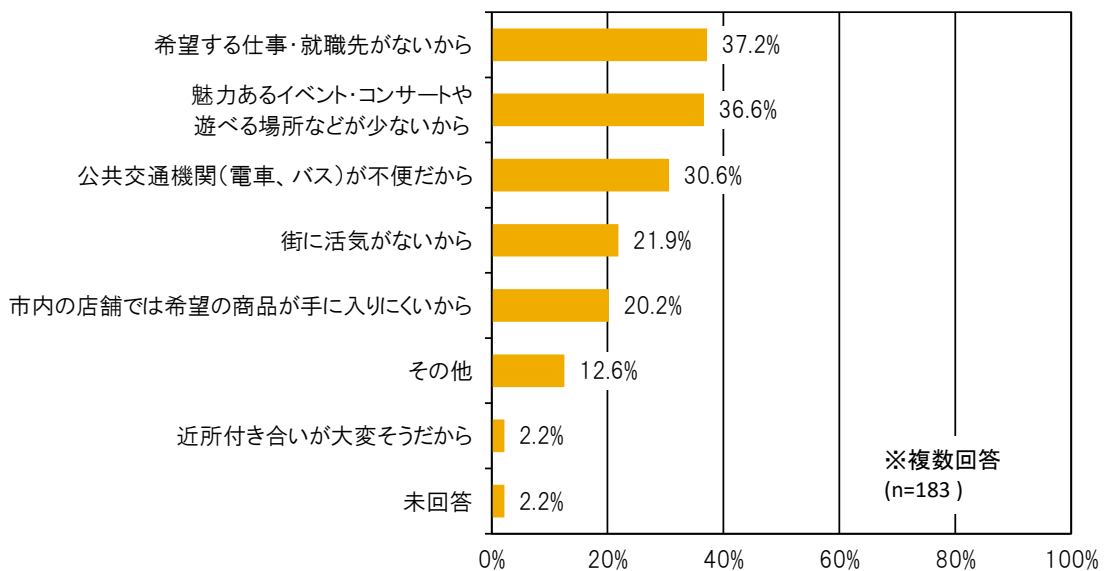
- 「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」が39.2%で最も多く、「住み続けたい」の20.3%と合わせると、全体の6割弱が定住意向を示しています。
- 男女別にみると、「住み続けたい」と回答した人が男性は21.4%、女性は20.2%であり、わずかに男性の割合が高くなりました。
- 一方、「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」と回答した人は、男性が36.6%、女性が43.3%と女性の割合が高くなり、「住み続けたい」と「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」をあわせると、女性の割合が高い結果となりました。



●出雲市に住みたい理由を教えてください。(出雲市に「住みたい」または「一度は市外へ出て、出雲に戻って住みたい」を選択した方のみ回答)

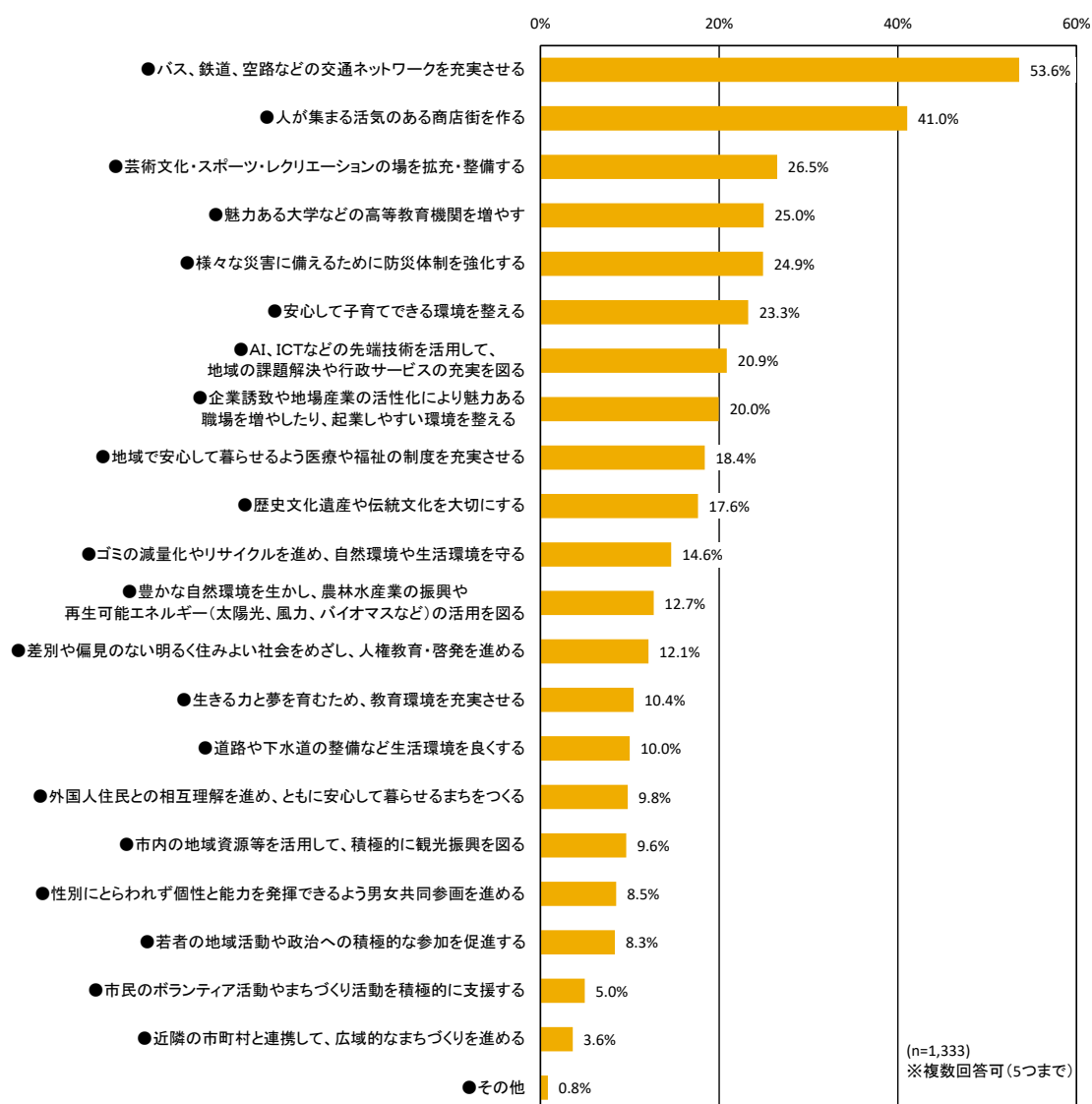


●出雲市に住みたくない理由を教えてください。(出雲市に「住みたくない(市外に出て、出雲市には戻らない)」を選択した方のみ回答)



(3) 将来の出雲市について

● 今後の出雲市のまちづくりに向けて、あなたが重要だと思う取組は何ですか。(5つまで)



- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組としては、「バス、鉄道、空路など交通ネットワークを充実させる」が53.6%、「人が集まる活気のある商店街をつくる」が41.0%となっており、この2つが特に高くなっています。
- 続いて「芸術文化・スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する」が26.5%、「魅力ある大学などの高等教育機関を増やす」が25.0%、「様々な災害に備えるために防災体制を強化する」24.9%などとなっています。

問題点・課題 地域	交通モード別の課題				政策分野別の課題		
	鉄道	バス	タクシー	スクールバス・その他	高齢者や障がい者等の移動手段確保	定住・まちづくり・財政	観光・商業・環境・その他
地域共通	インターネットによる情報入手困難者にとっては、遅延時の情報が音声放送のみのため、わからないJRの便数が少ない、最終列車の時刻が早い山陰本線の複線化を進めるべき	通勤・通学の時間帯に重点を置いたダイヤにすれば固定客が増えるのでは路線の連携(接続改善、重複解消)が必要運転手の確保が困難福祉バスの路線数が少ない。需要に応じて医療機関等を経由する経路を追加しては夜行高速バスは座席にゆとりがある車両がよい	運賃も含め、もう少し手軽に利用できるとよい運転手の確保が困難後期高齢者等が買い物や通院で利用する際の運賃を1/2補助する等の大幅な補助制度の考えてはどうか車いす・ストレッチャー利用に対応できるタクシー事業者及び車両数が不足	路線バスと類似した運行路線があり精査が必要だが、学校の統廃合時に地域にスクールバスを運行するという話がされているバスの故障時に代替車両がない路線がある委託形態の見直しが必要障がいのある児童・生徒の通学手段の検討(福祉サービスで通学支援を行っているが、事業所の人員や車両台数が不足)	地域の互助組織「たすけあい活動団体」として移送を行っている6団体から、介護保険制度における介護予防・生活支援サービス事業の「訪問型サービスBまたはD」の導入について要望あり。その可否を決定するため、高齢者の移動支援について検討中移動手段だけでなく、身体的・経済的な支援を併せて考えていくことが必要高齢者の外出支援事業は合併前の事業が各地域で継続されており、市全体で統一されていない通院や日常的な買い物でタクシーを利用すると負担が大きいため、定額制の乗り放題サービスを導入すれば、事業者も利用者もお互いにメリットがあるのでは	持続可能な都市経営を可能とするために、「立地適正化計画」の策定を検討中。分散している市街地をそれぞれの拠点として活かしながら、それを相互に結びつけていく多極ネットワーク型のコンパクトシティを目指す必要がある段が必要であり、自家用車を持たない、運転できない方への支援が必要バスを活用した移動投票所(国の支援や近隣自治体の事例あり)MaaS公共交通への市の財政的補助をどの程度まで行うのか。市民が不公平感を抱かないようにしなければならない	公共交通機関の充実、自動車交通量が減少することで環境への配慮につながる環境負荷の低い車両の導入(ハイブリッド車、電気自動車等)サイクルトレイン、サイクルバス、パークアンドライド等の導入車いすで観光地間の移動ができるようにすることが必要休日の大型商業施設周辺の渋滞対策無人運転車の普及促進(実証実験の実施、購入助成など)飯南町で実施されている自動運転サービスのようになり組みが中山間地域で実施できないか斐川ICの高速乗合バス駐車場は常に満車状態。有料にしてはどうか
出雲地域(旧出雲市)の中心部	一畑電車は、学生の利便性向上が必要一畑電車の利用者が多いのは限られた時間のみなので、少ない時間帯は車両を小型化(編成数を少なく)してはどうか				介護予防・日常生活圏ニーズ調査結果(令和元年度実施、以下同じ)によると、通院に困っている人は塩冶・高松地区、買い物に困っている人は塩冶地区に多い	出雲地域と斐川地域を移動する際、からさで大橋や神立橋等の前後が通勤時間帯に渋滞する中心地から郊外に移転するドーナツ化が進行し、中心部の魅力がない状況に見える道路建設によって市街地が発展するよりも、住民の郊外への移動が促進されている懸念	
出雲地域(旧出雲市)の山間部		そもそもバス利用の需要が大きいのか。利用者数を見る限り、運行状況の整理が必要では福祉バスは車いすでの利用ができない	高齢者福祉タクシー事業は、目的地までの距離に関係無く、利用券の枚数上限(500円券×24枚)が一律のため、山間部の住民は利用回数が限定的となる		デマンドタクシーの導入を検討してはどうか自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多いバスの運行本数が少なく利便性が低い	移動手段が自家用車しかない地域が多く、事故等が懸念	
平田地域	一畑電車は、学生の利便性向上が必要一畑電車の利用者が多いのは限られた時間のみなので、少ない時間帯は車両を小型化(編成数を少なく)してはどうか			小中学校の統合が進められる中、スクールバスの運行は必要になる。生活バスとの連携が必要	通院や買い物に困っている人は鰯淵・北浜地区に多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多いバスの運行本数が少なく利便性が低い	平田地域と斐川地域を結ぶ交通手段が乏しい移動手段が平田生活バスや自家用車しかない地域が多く、事故等が懸念	
佐田地域				小中学校の統合が進められる中、スクールバスの運行は必要になる。生活福祉バスとの連携が必要	全地域において、通院や買い物に困っている人が多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多い	移動手段が生活福祉バスや自家用車しかない地域が多く、事故等が懸念	
多伎地域					全地域において、通院や買い物に困っている人が多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多いバスの運行本数が少なく利便性が低い	移動手段が多伎循環バスや自家用車しかない地域が多く、事故等が懸念	
湖陵地域		福祉バスは車いすでの利用ができない			全地域において、通院や買い物に困っている人が多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多い	移動手段が福祉バスや自家用車しかない地域が多く、事故等が懸念	
大社地域	一畑電車は、学生の利便性向上が必要一畑電車の利用者が多いのは限られた時間のみなので、少ない時間帯は車両を小型化(編成数を少なく)してはどうか	出雲大社以外の観光地への交通手段が不便。従来からの課題だが、採算が取れないなら公共交通の整備は難しい			通院や買い物に困っている人は荒木・杵築・遙堀地区に多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多いバスの運行本数が少なく利便性が低い	杵築地域は昔ながらの街並みが続いており、家屋が密集し道路が狭隘で自家用車も進入しづらい	観光地への人の移動が地域住民の移動の妨げにならないような配慮が必要出雲文化伝承館を経由するバス路線があると観光客には便利
斐川地域					通院に困っている人は荘原・出東地区、買い物に困っている人は荘原・出東・伊波野・直江地区に多い自動車を持たない世帯の援助者は、通院の送迎をする際に、休暇取得などによる対応が必要住居が点在し、バス停までの距離が遠いところが多い	出雲地域と斐川地域を移動する際、からさで大橋や神立橋等の前後が通勤時間帯に渋滞する工業団地など開発が続いているため、通勤時間帯の渋滞が問題交通量が多いため歩行者、自転車との事故等が懸念	須佐神社や出西窯へ行くことのできるバス路線があると観光客には便利

■各地域行政センターへのインタビューシートに基づく地域公共交通の問題点・課題

問題点・課題 ／ 地域	交通モード別の課題				政策分野別の課題		
	鉄道	バス	タクシー	スクールバス	高齢者や障がい者等の移動手段確保	定住・まちづくり・財政	観光・商業・環境・その他
平田地域	(JR山陰本線) 地域全体としては、「やくも」が停車する出雲市駅か宍道駅が最寄り駅だが、駅までのアクセスは一畑電車が自家用車になるため不便 パークアンドライドが宍道駅でできるようになったのはメリット。だが、片道を航空便とした場合に利用できないのが残念 (一畑電車) 他の鉄道会社と比べると、運賃が高いという声を聞く	現行の評価方法では赤字路線として扱われる傾向にあるが、減便は利便性の低下につながる	以前は一畑口駅にタクシーが常駐していたが今はないため、一畑薬師の参拝客や周辺住民は、配車まで時間がかかる	スクールバス乗降所の移設と安全確保、平田生活バス停留所との調整が必要 各学校単位でPTAを主体に実施している課題調査の意見を取り入れることも有効	平田高校以外の出雲・大社・松江の各高校への通学手段は、一畑電車のほか自転車と保護者送迎による 近年、地域内の小中学校が統合されスクールバスが運行されているが、民間のバス会社の参入がみられず、出雲市都市公社が運行 農・漁村部にあった「日用品・食料品店」が衰退傾向にある一方で、移動販売サービス業者の展開もみられる	自治振興課(中山間地域振興室)により年1回集落点検と課題抽出が行われている。そうした資料も参考にしては	高速乗合バスの各乗り場に利用者駐車場が整備されているが、最も近い斐川ICの駐車場は繁忙期には満車状態であり、利用しづらいのが
佐田地域		集団対応から個別対応へシフトすることを考えないといけない。ドアツードアの移動サービス等、新しい交通システムを考える時期に来ている 自宅からバス停までの距離が負担。自宅がある沿線の道路を通過してほしい(下佐津目、横見等) 帰りの便の時刻を見直してほしい 地域内の公共交通と一畑バスとの乗り継ぎ改善が必要	「スクールバス」「生活福祉バス」「高齢者外出支援事業」の3つがあるが、時代の流れの中で、新たな交通体系を検討していく時期に来ている 「スクールバス」と「生活福祉バス」は自宅から最寄りの停留所までの距離が遠くて不便 一畑バスは、料金・運行時間等の理由により利用者が少ない。 スクールバスを他の有効利用	市内遠距離通学生への支援施策が不足。子育て環境の充実や、中山間地域の定住支援の面から検討すべき 公共交通の充実や市主体の通学バス運行などの声があるが、費用対効果、財政負担の増大等課題が多く非現実的 江南駅へのバス運行や、須佐線の利用促進を兼ねた遠距離通学費補助制度の事業化等による高校への通学支援 保護者送迎への助成制度の検討	高齢者外出支援事業の要件が厳しい。現に困っている人に対応することが重要 利用登録をしている方に現行制度の使い勝手や課題を聞く必要がある(アンケート調査を実施予定) 免許返納後の高齢者にとっては、生活圏内での移動手段の確保は喫緊の課題 自らが運転でき、かつ低速で動けるシニアカー購入費の助成	生活に必要な通院や公共・金融窓口等への外出は「デマンドバス+公共交通機関」でフォローし、買い物はこれらに加えて「移動販売車」によりニースの隙間を埋めることが可能では 旧佐田祭の復活によるシェアハウスの活用	AIの活用 電動ゴルフカート運行や自動運転技術の活用
多伎地域	(JR山陰本線) これまで作成配布していた紙のポケット時刻表を廃止。多伎循環バス等のポケット時刻表にも、「JRの時刻表は掲載しないでほしい」と要請されている	(多伎循環バス) 利用者が減少傾向(外出自粛や国道9号通行止めの影響もあり) フリー区間の設置やバス停の増設などの要望もあるが、タクシーとの棲み分けも必要で、民間事業者と競合すべきではない (路線バス全般) JRの運休時の代替手段として、石見交通～多伎循環バス～一畑バスと乗り継ぎを考える方からの問い合わせがしばしばある		多伎循環バスで通学する児童がいるため、登下校時刻に配慮する必要あり	国道9号が交通の大動脈となっており、通行止めになると地域交通への影響が大きい 通院のため、多伎循環バスとJRを乗継して利用される場合、乗継で待ち時間が生じるとの意見がある。 高齢者外出支援事業の「登録要件が厳しい」、「登録者数に比べて利用者数が少ない」等の意見あり 高齢者が買い物のため公共交通を利用する場合、帰りのバスの時間までの間隔が長い／短いといった意見あり	山陰道の出雲～湖陵～多伎間が開通すると、山陰道で多伎地域を通過する車が増加し、国道9号沿線への経済的影響が懸念	
湖陵地域	運行の無い時間帯があり、どうしても利用から離れてしまっている。悪循環 通勤、通学時間帯の増発・増結が必要。1両編成ではとても混雑 15時台の間隔が開き過ぎて、高齢者の行き帰りが不便	(一畑バス小田線) 上り始発が出雲市駅9:37着で沿線住民は通勤通学として使えない。便数が少なく生活利用としても使えない 高齢者にとっては病院やスーパー等の近くで乗降できるとよい(フリーバス) (福祉バス・湖陵地域) 利用者が少ない。ルートや便も変更したいがその後のフォローが必要は。(アンケート実施等) 町内をいくつかに区分してきめ細かい運行が必要(江南線) 市民病院回りコースと島根大学医学部病院回りコースがあると便利	地域内にタクシー事業所が無くなって不便という声を聞く 江南駅タクシーは15時以降は降車。県外からの客にとっては不便 福祉バスに代わる買物、病院等に割引支援サービス券を配布してはどうか	市内の高校へ通学する場合、鉄道やバスの利用が困難なため保護者が送迎する機会が多い(特に周辺部)	将来的に福祉バスのみでよいのか、手立てを講じる必要あり 高齢者福祉タクシー利用券交付要件のバス停要件は、一畑バスの生活利用が難しい中、厳しいのでは 地域内の医療機関は内科が主の3カ所のみで、自家用車がない人が出雲地域へ通院する場合とても不便。送迎の負担も大きい	距離に応じた通学費助成等の手立てをしないと周辺部はますます過疎化が進む	沿線の市職員は、少なくとも週1回(水曜日)、バスで通勤するよう義務付ける等今までにないことに取り組んで 飯南町で実施している自動運転車も検討してはどうか
大社地域	(一畑電車) 平日昼間は乗客が少ないため、一両で本数を増発してほしい	(一畑バス) 便数が少ない。小型車両で増便を望む 各拠点からは、より小さい輸送手段で回数を多く運行してほしい (うさぎ線) 営利目的ではなく、住民サービスという観点から捉えて対応する必要がある。例えば、土日に限り片道100円で利用できる等 うさぎ線とバスやタクシーを乗り継いで移動する場合の運賃負担の軽減と、乗り継ぎ時刻の改善 冬期の降雪・凍結・倒木等による運行に支障が無いよう道路事情への細かな配慮が必要 うさぎ線を猪目地区の住民もよく利用する 利用者も、バスの運行時刻に合わせて医院や病院の受診予約をするなどの工夫をするとうい	うさぎ線は終点が行政センターなので、そこから先へ行くとき不便。タクシー等の乗り継ぎがあるとよい 待ってもなかなか来てもらえない。運転手不足と聞いている	スクールバスの空き時間を地域(コミセン等)の活動の送迎に利用できないか スクールバスに混乗できないか。定員に対して余裕があるようである	一人暮らしの高齢者等が利用できる乗り物の整備を検討してほしい	高齢者独居の生活支援のための移動販売車を整備してほしい	行政側からバス路線の上手な利用の仕方を伝え、利用を呼び掛けてほしい 高齢者独居の生活支援のための移動販売車を整備してほしい 免許返納者への公共交通への援助制度を充実してほしい
斐川地域		(まめながタクシー) 「午後の便の時間延長」と「予約時間に当日予約を追加すること」が実現していない 運行表以外の行先で停めてほしい(知人宅の前など) トライアルなどを行先に加えてほしい 利用前日の予約しかできないため不便 一時的に親の介護などで帰省した際に、同乗したい(市外在住者) 利用登録時と身体状況が変わり、乗降が難しくなった場合でも、タクシー会社は乗車拒否対応ができない 予約受付時間以外では留守番電話となるため、キャンセルの連絡が行政センターにかかることがある			「まめながタクシー」の利用に制約があるため、①誰もが利用でき、かつ、斐川地域外への移動がスムーズにできる交通体系の構築。②小学校の遠距離通学(片道4km以上)の児童への対応が課題		

■交通事業者へのヒアリング調査結果に基づく地域公共交通の現状・課題

	利用者の特性や傾向		運行に当たった問題点・課題			地域公共交通計画の策定に当たり考慮すべき事項		
	利用の特徴(利用目的、目的地、利用の多い曜日・時間帯等)	近年における利用者の特性や傾向の変化	利用者からの意見・要望	乗務員の年齢構成及び充足状況	保有車両数、平均車齢、車両更新予定及びバリアフリー対応車両の導入状況・予定、その他	利用促進や利便性向上又は運行効率化のために実施並びに今後計画している取組	他の交通事業者(JR西日本、一畑電車、他のバス・タクシー事業者等)との連携に当たり求めたいこと、又は協力できること	出雲市地域公共交通計画の策定に当たり提言・期待すること、又は行政と協働で実施したいこと
西日本旅客鉄道株式会社出雲市駅	区間によって異なるが、定期が約80%（多い区間は約95%）、定期外が約20%（少ない区間は約5%） 宍道駅～西出雲駅は高校や医療関係の学校が多く定期利用が多い。西出雲駅～田儀駅は少ない	鳥取県を含めた山陰エリア全体の利用者数は、1989年頃から約30年間で40%程度減少 サンライズ出雲の乗客は、出雲市駅で降車し、出雲大社周辺を観光して松江市・玉造温泉方面へ移動することが多い コロナ禍前と比較して定期は約86%、定期外は約40%の水準に回復。特急の利用は約50%回復	出雲市駅では、路線バス・高速乗合バス・一畑電車の乗り場、出雲大社までの所要時間を聞かれることが多い			アプリ「WESTER」で、ダイヤや駅構内の情報、クーポン等を提供。バスの時刻も検索可 観光型アプリ「setowa」では独自のデジタルチケットを発行している。これが山陰に広がれば、縁結びパーフェクトチケットのようなものを扱うことも見据えることができる 利用者数をコロナ禍前の水準に戻すことは難しいという前提のもと、利用実態を踏まえながらダイヤを設定	接続確保のため、他の交通事業者へに情報提供を行っているが、今後はそれだけでなく、役割分担等を検討する必要がある 田儀駅～小田駅など同区間をJRと路線バスが並走する場合、通勤通学で多くの人が移動する時間帯はJR、それ以外の時間帯は路線バスという形で役割分担ができる よい	JRを含む公共交通事業者で、MaaSの観点から利用者が検索・予約・決済が一括でできるシステム・データに関する連携を検討したい 隣接する他自治体との連携が必要
一畑電車株式会社	観光客の利用は、松江しんじ湖温泉～出雲大社前間から電鉄出雲市～出雲大社前間にシフト。旅客の平均乗車キロが低下傾向	令和2年度は輸送人員でコロナ禍前の約7割、旅客運輸収入で約6割の水準まで減少 定期旅客は通勤に比べて通学の減少幅が大きい				1日だけの調査ではなく、一定期間の乗降調査を今後も定期的に実施予定 乗降調査結果を踏まえたダイヤ改正に引き続き取り組みたい	JR出雲市駅・電鉄出雲市駅～出雲大社前駅間における一畑バスとの役割分担が必要 縁結びパーフェクトチケットにJRさんを組み込むことで観光客の周遊利便性向上につながる よい 交通系ICカードの導入を検討中	斐川地域と平田地域との間のアクセス改善
一畑バス株式会社	【路線バス】 利用者の大半は出雲市駅～出雲大社間の観光利用。生活利用(定期旅客)は、通勤・通学ともに非常に少ない 出雲管内のICOCA定期券の購入者数は松江管内の10分の1程度である 交通系ICカードの導入により降車時間の大幅な短縮が図られ、乗務員の負担軽減と定時運行につながっている 【高速乗合バス】 観光客の利用が7～8割を占める	【出雲管内の路線バス】 コロナ禍により外国人観光客の利用がほとんど見受けられなくなった R3年4月～11月は全体でコロナ禍前の約7割、定期利用は9割、観光利用(現金・ICOCA)は約6割といった状況。R3年10月中旬以降から回復傾向 【高速乗合バス】 県外移動の自粛要請により、利用者数は激減。コロナ禍前の水準までは戻らないと考えており、収束後は便数の見直しが必要 大阪線については減便運行を継続中(通常13往復⇒現行6往復)	【出雲管内の路線バス】 日御碕線をH29より減便しており、便数を増やしてほしいという意見がある 出雲市駅～出雲大社間を最短距離で結ぶバスがほしいという意見がある。直通だと20分だが現在は30分強かかる 大社線・日御碕線は観光客により車内が込み合うので大型車両で運行している 須佐線の最終便を運くできないかという意見があり検討中 【高速乗合バス】 大阪線の復便を望む声がある	コロナ禍により高速乗合バスを減便していることもあり、現時点では概ね充足しているが、全路線全便を復便した場合には乗務員不足が必ず生じる 健康面を考慮し、65歳を定年としている 乗合と貸切は基本的に兼務。一般路線と高速乗合バスも兼務し、どの業務にも対応できるようにしている	H29年の路線再編に併せて保有車両を削減し、現在は14台。うち10台がノンステップ、4台がワンステップ車両 毎年概ね2台ずつ更新している	【現在取り組んでいる事項】 環境定期制度の拡充(往復定期券所持者は土日祝フリー) 多客時の続行便の対応 大型車両を導入し、多客時における輸送需要の集中に対応 【今後検討する事項】 定期券制度の変更(区間制から金額制への見直し)	観光客については一畑電車との役割分担が課題。バスの便数を減らすと、途中区間を利用する住民の利便性が低下する 一畑電車は増発して観光客を意識したダイヤ編成になっているが、バスの収支だけを考えると大社線は収益の柱であり、縮小は難しい 一畑電車でもICOCAが使えるようになるとよい	
有限会社ササノ観光	【大寺線】 朝夕の便の利用が多く、昼間は少ない。通勤・通学と高齢者の通院目的がほとんどで、土日祝の利用が少ない 【根波線】 島根大学医学部付属病院での乗降が多い。職員4-5人の通勤利用もある(復路は一畑バス等を利用) 買い物や通勤目的での利用もあるが、通学利用はない 雲南市内の3停留所の利用は少ない 【外園線】 主に、出雲養護学校の生徒が通学に利用する。悪天候時は、出雲農林高校等の生徒の利用もある 一定の通勤利用もあると考えられる 【平成温泉線】 出雲西高校の通学利用が多い。往復定期の利用者が主だが、現金や片道定期券の利用もある 出雲平成温泉の利用者は多くはない	【大寺線・根波線】 特に変化はない 【外園線】 市民会館の北側の地域の一畑バスの運行が無くなったため、H29年度からH30年度にかけて利用者が増加 15時台の便は出雲養護学校の下校時刻には早い 【平成温泉線】 H2年度頃に花の郷・朱鷺会館前停留所を設置したが、利用は多くない 【貸切バス】 学校の部活動の大会、遠足、修学旅行での利用が多い コロナ禍前の6～7割の水準に回復	【大寺線・根波線・外園線】 特に聞いていない 【平成温泉線】 江南線の8時台の便は古志橋の渋滞でよく遅れることがあるが、ダイヤを変更すると高校生の通学が不便になる恐れがある	平均年齢は60歳台くらい。現在、概ね充足しているものの、運転手の確保は困難 乗合と貸切は基本的には分かれているが、乗務員の休みの関係で兼務することもある	両数は39台で、うち4台が路線バス車両 路線バスの4台は全て車椅子対応	キャッシュレス決済等への対応は、何らかの支援があれば検討の余地はある 接近情報の提供は費用面で難しい。悪天候等で運休するときは、出雲市やコミセンに連絡したり、駅の掲示等に対応		
有限会社谷本ハイヤー	【タクシー】 地域の高齢者が、自宅から買い物や病院へ行く利用が多い。自宅から電話で呼ぶ人が8割～9割を占める 現在は飲みに出る人が少ないため、夜はほぼ稼働していない 観光は本年9月下旬頃から回復傾向 【三刀屋出雲線】 三刀屋から出雲市内の高校や医療機関へ行く人と、出雲市内から三刀屋高校に通学する生徒の利用が主 定期利用は減少傾向 出雲市駅8時発の便が三刀屋高校の始業に間に合わないという話がある。1～2年前に6時台の便を設定したが利用は伸びなかった 雲南市内からの乗り継ぎもある	【タクシー】 通院・買い物等の利用はコロナ禍前の約8割まで回復しているが、金曜日や土曜日の夜の利用は5割以下の水準 出張等の業務での利用は、5～8割に回復 観光客は家族など少人数の利用が主 【三刀屋出雲線】 小学生が通学に利用するようになっている	【タクシー】 女性ドライバーの手配を依頼されることがある 【三刀屋出雲線】 雲南市から、早い時間に運行してほしいという要望がある	乗務員の平均年齢は60歳代。充足はしていない 湖陵地域にタクシー会社がなくなったため、地域に1台を常時待機させている	タクシー車両は福祉車両を含め44台。ほか、バス車両が8台 バス8台のうち1台を乗合専用、2台を貸切・乗合兼用としている 24時間営業を続けているが、運行管理者の配置や水光熱費、人件費等に対して夜間の売上が少なく、会社としては厳しい 夜間営業を複数事業者の当番制にした場合、共同配車や受付方法が課題 配車アプリには対応していない。現金以外では、タクシーチケットとPayPayに対応		予約への対応が困難な場合、他社と連携している。競争もするが、できるところは協力している	三刀屋出雲線について、事業者のインセンティブにつながる利用促進策が考えられる よい 障がい者手帳保有者が高齢者福祉タクシー事業の助成券を使用する場合、1割引をした上で助成券を使用する形になる ダイヤが利用者のニーズに合っているか、検討の余地がある
出雲一畑交通株式会社	【タクシー】 医療機関と提携しており、日中は透析患者の利用が多い 11月は観光客の利用が回復したが、乗務員が不足しており配車できないことがあった 土日祝のタクシーの稼働が減少して乗務員が休む傾向にあり、売上げも伸びず悪循環 ICOCA等には対応していない。バス、タクシーともに現金が多く、PayPay・メルカリPay等には対応しているが、1割に満たない程度	【タクシー】 R3年11月の利用者数は、コロナ禍前の7割程度まで回復。週末の夜の利用もR3年10月中旬から増加 コロナ禍前に比べて土日祝日の買物利用が減少。通院もないため土日祝日の稼働率が低下 出雲市駅から 出雲村田製作所や島根富士通等の企業へ向かう出張利用は落ち込んだまま 【出雲空港連絡バス】 ビジネスでの利用が大きく減少 R3年11月の神在祭の時期は2台での運行必要な水準まで回復。3台になる事もあった 斐川地域内の停留所での状況は少なく、月に20人程度	【タクシー】 8時から10時の間に利用が集中。乗務員不足で配車できないことがある 【出雲空港連絡バス】 以前、朝の出雲市内行き2便は斐川地域から乗車できたが、月に10人程度と少なかったため乗車不可とした FDA等によって発着する航空便が増えたが、全ての航空便にバスを接続させるのは困難	定年退職等で乗務員数は減少傾向。若い運転手の確保も困難 コロナ禍の収束状況によるが、需要が回復した場合、乗務員不足が顕著になる	タクシー車両は47台で、うち車いす・寝台兼用車が2台、ジャンボタクシーが4台。平田営業所の閉鎖により10台弱を減車 平田営業所は閉鎖したが、雲州平田駅を中心に1日あたり7～8台を平田地域へ配車している タクシー車両が常駐しているのは、出雲市駅、ツインリブホテル出雲、ニューウェルシティ出雲周辺、島根県立中央病院、ゆめタウン出雲、島根大学医学部附属病院等	クレジットカードに対応しているが、機器が古くて操作が煩雑なため更新したい 配車システムの更新を予定していたが、コロナ禍により先送り中		コロナ禍で市から支援をいただいたが、タクシー事業に行政支援があるとありがたい 障がい者手帳保有者が高齢者福祉タクシー事業の助成券を使用する場合、1割引をした上で助成券を使用する形になる。透析患者等、障がい者手帳保有者の利用は多いため、事業者負担分の支援があるとよい

道路運送法の基礎知識

令和3年6月24日

中国運輸局岡山運輸支局 輸送・監査部門
運輸企画専門官(旅客担当) 可兒 竜太郎

1. はじめに
2. 道路運送法について P2～
3. 一般乗合旅客自動車運送事業の概要 P4～
4. 地域公共交通会議の役割 P8～
5. 自家用有償旅客運送の登録等に係る制度 P10～
6. おわりに



道路運送法とは

○道路運送法の目的

- ・道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする
- ・ニーズの多様化・高度化に対応したサービスの提供

- ・輸送の安全の確保
- ・利用者の利益保護・利便増進

◎公共の福祉の増進

◎道路運送の総合的な発達

- ・有償で旅客を運送する事業を行うことは「**旅客自動車運送事業**」に該当
→国土交通大臣の許可が必要
- ・使用する車両は、**事業用自動車**と呼ばれる
- ・ナンバープレートは緑色（軽自動車の場合は黒）

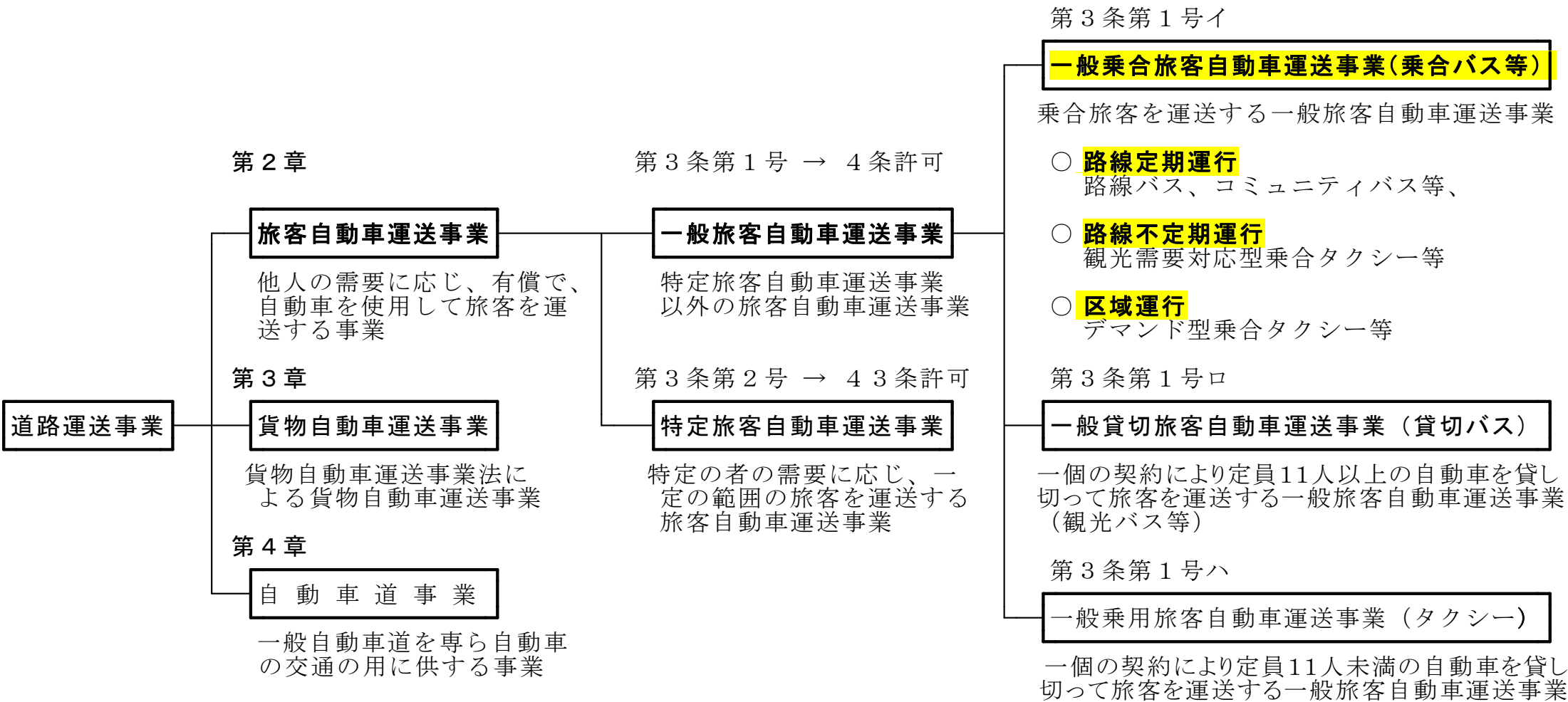
広島200
あ 46-49

- ・自家用自動車による有償運送は**原則として禁止**
- ・しかし、既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難
→地域の関係者等で構成される協議会で必要性について合意した場合
→道路運送法の登録を受け、「**自家用有償旅客運送**」が可能

例 交通空白地による自家用有償旅客運送
福祉による自家用有償旅客運送

広島200
さ 46-49

道路運送法に基づく事業区分



第5章

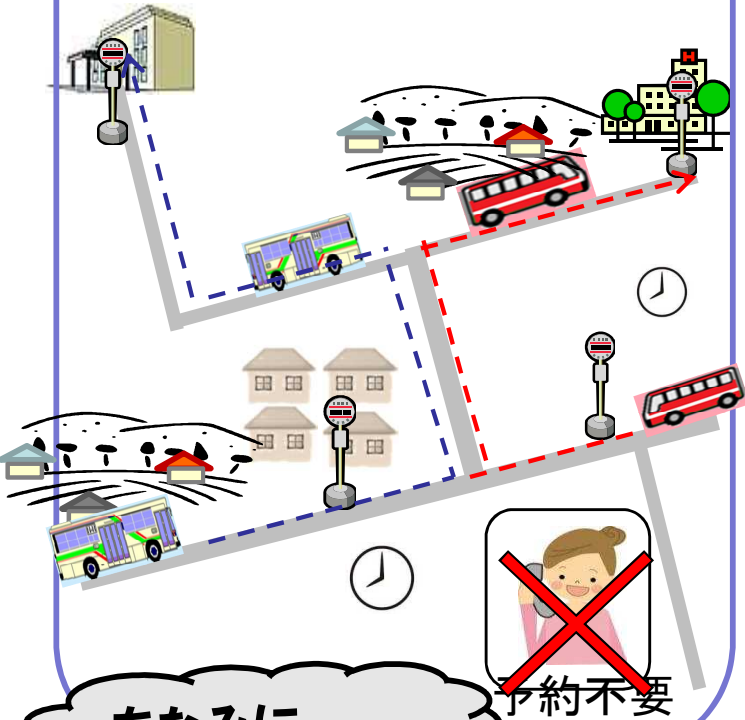
自家用自動車の使用

- 有償運送 法 78 条 2 号 有償旅客運送…交通空白地有償運送、福祉有償運送
- 有償貸渡し 法 80 条 3 号 通園バス、ぶら下がり、中元・歳暮時期の貨物 等
- レンタカー

乗合事業における種別ごとのイメージ

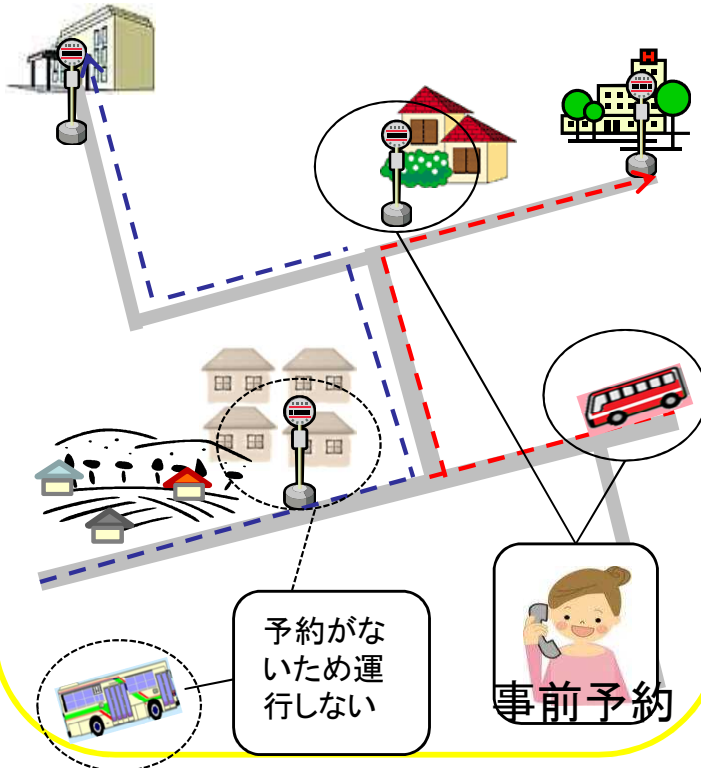
路線定期運行

特徴：予め定められた時間に定められたルートを実行



路線不定期運行

特徴：予約がある場合に予め定められたルートを実行



区域運行

特徴：路線を定めず、予約がある場合にのみ区域内を実行



ちなみに...

乗合タクシーは不特定の間人が乗り合わせる運行形態
 →乗合事業（バス事業）と整理され、この3区分のいずれかに分類
 （※タクシー事業ではない）

「事業計画」と「運行計画」

乗合事業者は運行の態様(路線定期運行・路線不定期運行・区域運行)ごとに事業計画(路線定期運行においては運行計画も)を定める必要がある

路線定期運行

事業計画 (事業の重要かつ基本的な事項)

- ・路線
起点、終点の地名及び地番
キロ程
主たる経過地
- ・主たる事務所及び営業所の名称及び位置
- ・営業所ごとの車両数
(常用、予備、11人未満内訳も)
- ・車庫の位置、収容能力
- ・車両の大きさ、重量(最大寸法)
- ・停留所の名称及び位置並びに間のキロ程

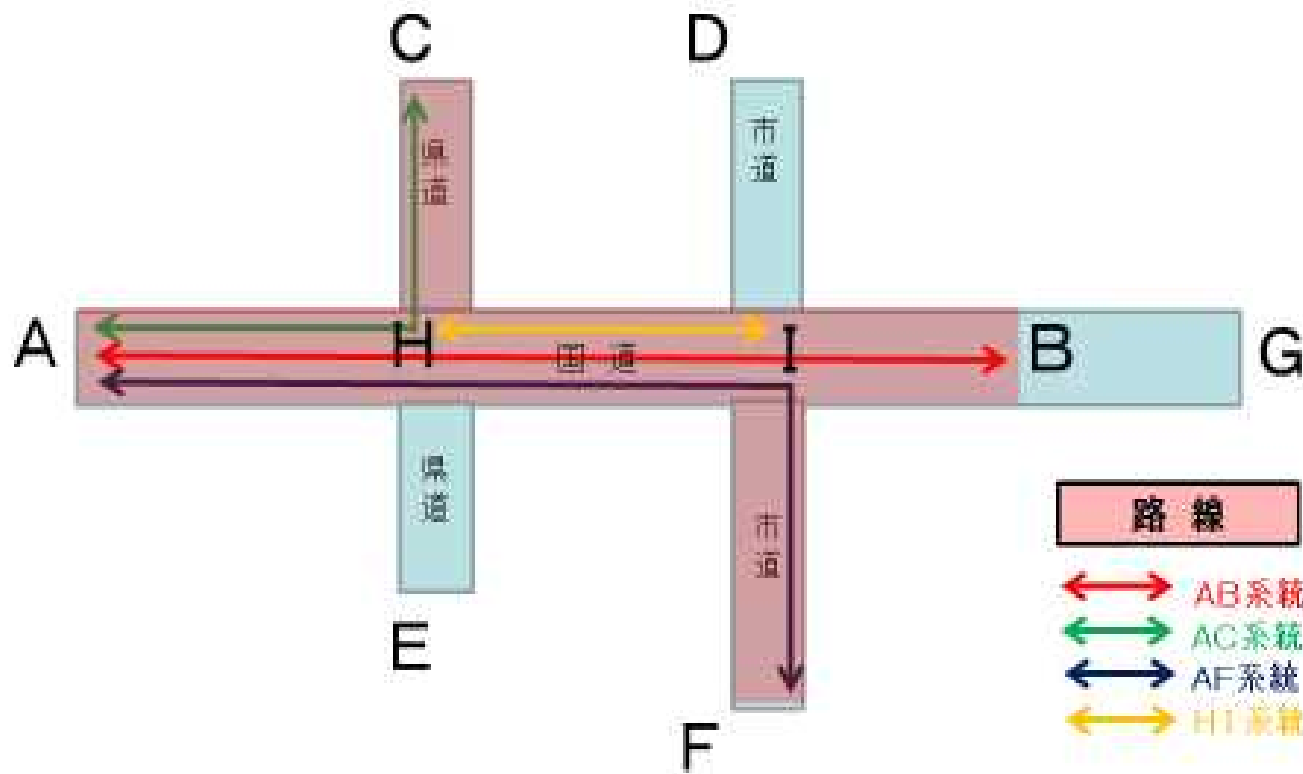
運行計画 (サービス水準に関する事項)

- ・運行系統(起点・終点・経過地)
- ・運行回数並びに始発及び終発の時刻
(回数が少ない場合は運行時刻)
- ・一年を通じ継続して運輸するものでないときは、運輸をする期間

「路線」と「運行系統」

「路線」・・・道路上でバスが運行する道(認可事項)

「運行系統」・・・路線上をどのようなルートで運行するか定めたもの
 ※認可を受けた路線上(道路上)しか設定不可



(解説)

- ・A～B系統は認可を受けているため設定可能
- ・A～G系統はB～G間の認可を受けていないので設定不可能

路線不定期運行・区域運行の「事業計画」

路線不定期運行

事業計画 (事業の重要かつ基本的な事項)

- ・路線
起点、終点の地名及び地番
キロ程
主たる経過地
- ・主たる事務所及び営業所の名称及び位置
- ・営業所ごとの車両数
(11人未満内訳も)
- ・車庫の位置、収容能力
- ・車両の大きさ、重量(最大寸法)
- ・運行系統
- ・乗降地点の名称及び位置並びに間のキロ程
- ・発地の発車時刻又は着地の到着時刻

区域運行

事業計画 (事業の重要かつ基本的な事項)

- ・営業区域
- ・主たる事務所及び営業所の名称及び位置
- ・営業所ごとの車両数
(11人未満内訳も)
- ・車庫の位置、収容能力
- ・運送の区間
- ・発地の発車時刻若しくは着地の到着時刻
又は運行間隔時間

※ 路線不定期運行、区域運行における事業の適切性

利用者利便の確保のため、地域公共交通会議で
地域交通のネットワークを構築する観点から協議が整っていること等、
路線定期運行との整合性がとられているものであること

地域公共交通会議

○目的

- ・地域の実情に応じた乗合旅客運送の方法、運賃・料金、自家用有償運送の必要性、対価などを地域の関係者で協議
- ・地域全体で整合性のとれたネットワーク構築に向けた交通計画を策定
- ・輸送の安全、旅客の利便確保策などを検討

○主宰者

市町村、都道府県（※ 自主的な判断によって設置）

○構成員

市町村、都道府県、旅客自動車運送事業者（又はその団体）、住民代表、利用者代表、運輸局（又は支局）、運転者が組織する団体、道路管理者、都道府県警、学識経験者等

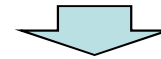
事業者へ委託



○乗合事業者による運送

- ・許可基準弾力化、運賃の認可不要（協議運賃）
- ・意見照会の簡便化
- ・標準処理期間の短縮
- ・他事業の車両併用可

事業者によることが困難な場合



○自家用自動車による有償運送（市町村）

- ・輸送の安全、利用者利便を確保するための対応を検討

地域住民の生活に必要な乗合旅客輸送の確保、利便性の向上

地域関係者の役割

○市町村

○都道府県

○住民・利用者

○交通事業者
(バス・タクシー事業者、バス・タクシー協会)

○国

自家用有償旅客運送制度(平成18年創設)

概要

□ 過疎地域での輸送や福祉輸送といった、地域住民の生活に必要な輸送について、
 それらがバス・タクシー事業によっては提供されない場合に、市町村、NPO法人等が
自家用車を用いて有償で運送できることとする制度

種類

住民等のための「自家用有償旅客運送」
 (交通空白地有償運送)

実施団体数:
 市町村が運送主体 (468団体)
 NPO法人等が運送主体(133団体)
 ※全国1,724市町村の内522市町村で実施
 (令和2年3月31日時点)



身体障害者等のための「自家用有償旅客運送」
 (福祉有償運送)

実施団体数:
 市町村が運送主体 (108団体)
 NPO法人等が運送主体(2431団体)
 (令和2年3月31日時点)



※平成27年4月より、事務権限(登録・指導・監督)の市町村長等への移譲(手上げ方式)を開始。
 平成31年4月1日現在、事務・権限の移譲先として19自治体(8県、11市区町村)を指定済み。

登録要件

- ① バス、タクシーによることが困難、かつ、
- ② 地域の関係者(※)により「地域住民の生活に必要な輸送」であるとの協議
※地域住民、地方公共団体、NPO、バス・タクシー事業者及びその組織する団体、地方運輸局又は運輸支局等
- ③ 必要な安全体制の確保(運行管理・整備管理の責任者を選任等)

有効期間

2年(重大事故を起こしていない場合等は3年)
 ※事業者協力型自家用有償旅客運送は5年

指導・監督

上記③について、必要に応じ監査等を実施。さらに是正命令や登録取消等の処分を実施。

登録等

自家用有償旅客運送の登録等に係る手続き(1)

新規で行いたい



地域における
関係者の協議
・地域公共交通会議
・運営協議会



【手続き】
新規登録申請

有効期間を
更新したい



地域における
関係者の協議
・地域公共交通会議
・運営協議会



【手続き】
更新登録申請

登録事項を
変更したい

- ・路線
- ・運送区域
- ・旅客の範囲(拡大)
- ・事業者協力型の別
を変更する場合



地域における
関係者の協議
・地域公共交通会議
・運営協議会



【手続き】
変更登録申請

軽微な事項を 変更したい

- ・名称及び住所
- ・代表者の氏名
- ・事務所の名称及び位置
- ・種類ごとの自動車数
- ・旅客の範囲の縮小
など



【手続き】

登録事項変更届

※変更した日から30日以内に届出

廃止したい



【手続き】

廃止届出

※廃止した日から30日以内に届出

輸送実績報告書



【手続き】

毎年、前年4月1日から3月末までの
実績を5月末までに報告

主な登録要件

1. 運行形態(路線または区域)
2. 旅客の範囲
3. 使用する自動車
4. 運行管理・整備管理の体制
5. 運転手の資格要件
6. 旅客から収受する対価

※その他の登録要件に関する詳細は、関係通達等において定めている

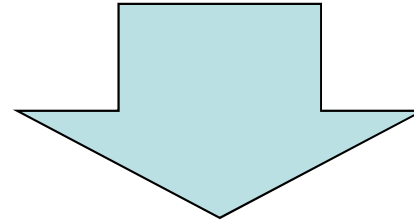
自家用有償旅客運送制度の改正(令和2年11月)

種類

市町村運営有償運送

公共交通空白地有償運送
(NPO等)

福祉有償運送
(市町村・NPO等)



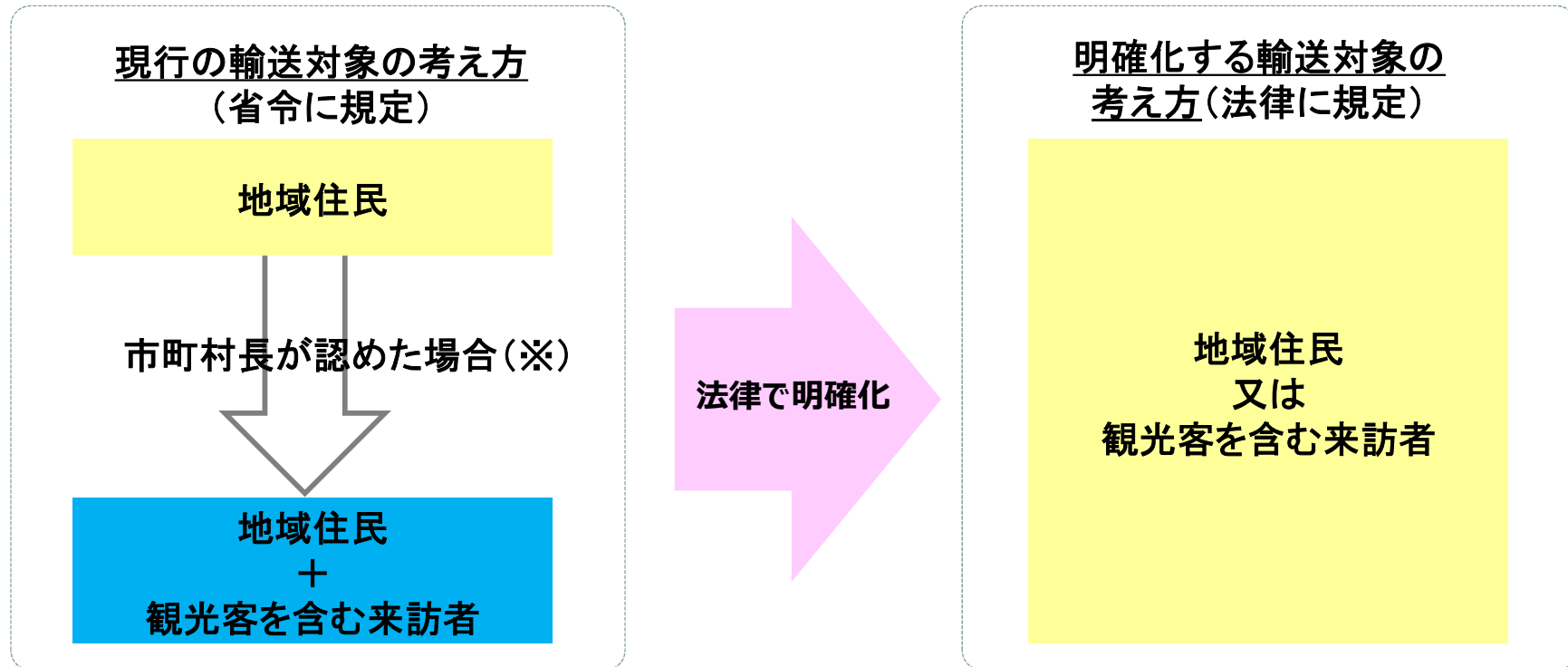
交通空白地有償運送
(住民等のための「自家用有償旅客運送」)
(市町村・NPO等)

福祉有償運送
(身体障害者等のための「自家用有償旅客運送」)
(市町村・NPO等)



観光ニーズへの対応のための輸送対象の明確化

- 地域住民だけでなく観光客を含む来訪者も対象とすることを法律において明確化



(※) 地域の交通が著しく不便であることその他交通手段の確保を図ることが必要な事情があることを市町村長が認めた場合

【期待される効果】

- ・インバウンドを含む観光ニーズの取り込みにより、生活交通も含め、地域交通の持続性が高まる
- ・観光客の移動ニーズに対応し、地域の観光資源の活用を図る

交通事業者が協力する自家用有償旅客運送制度の創設の趣旨

課題

- 地域に、既存の交通事業者では対応しきれない移動ニーズが明らかになった場合
 - ・交通事業者（バス・タクシー）による移動手段の確保
 - ・市町村等による自家用有償旅客運送の実施
- 二者択一の選択肢について協議となり、意見が対立→合意形成がハードルになりやすい

○既存の交通事業者では対応しきれない移動ニーズ

安全性の観点から
まずは交通事業者の活用を検討



(両者にメリットのある着地点)

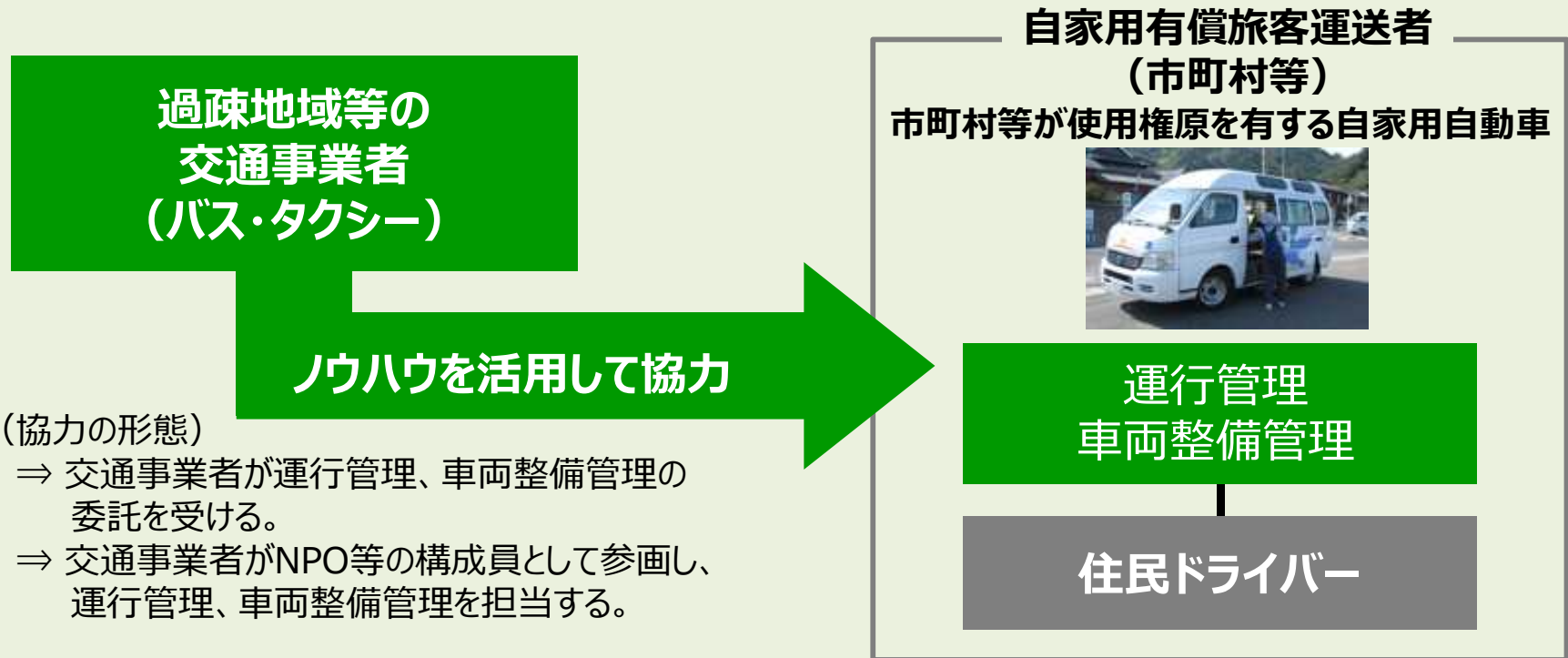
【新設】
協力型
自家用有償

【役割分担】
バス・タクシー：ノウハウを活用し運行管理等を担う
市町村等：自家用有償の運行主体となる

「協力型自家用有償」に期待される効果	
【利用者】	安全、安心な交通サービスの提供
【自家用有償主体（市町村等）】	業務負担の軽減、運行ノウハウの活用
【交通事業者】	委託費の確保等

「協力型」の制度化により、両者にメリットのある着地点を提案し、合意形成を容易化

○過疎地等で市町村等が行う自家用有償旅客運送について
バス・タクシー事業者が運行管理、車両整備管理で協力する制度を創設
⇒運送の安全性を向上させつつ、実施を円滑化



○地方自治体ご担当者様へのお願い

○参考HPのご案内

◇国土交通省HP

下記ページに法律の他、重要通達、検討会報告書等、掲載されています。

乗合 https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000011.html

自家用https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000012.html

◇中国運輸局HP

各事業別の公示を中心に参考情報が掲載されています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/txt/jidousyakoutsubu.html>

ご清聴ありがとうございました

Fin

住民アンケート調査実施計画（案）

1. 調査概要

(1) 目的

- 市民の通院、買い物、通勤等の移動実態の把握
- 公共交通の利用頻度とニーズの把握
- 公共交通の満足度と改善点の把握

(2) 実施時期

令和4年1月下旬～2月上旬

(3) 調査対象

市内に居住する高校生以上の住民から抽出した3,000人

(4) 調査対象の抽出方法

- 出雲、平田、佐田、多伎、湖陵、大社及び斐川の地域別に、無作為抽出
- 地域ごとに50～100票を回収できるよう、地域別の配布数を調整

(5) 配布・回収方法

郵送による

2. 調査項目

- 普段の外出について
- 出雲市内の鉄道、バス及びタクシーの利用状況について
- 出雲市内の公共交通機関の満足度や改善点について
- 出雲市内の公共交通の維持・確保について

※詳細はアンケート調査票（案）を参照

以上

■ あなた自身のことについて

問1. 次の (1) ~ (7) にお答えください。【それぞれ、どれか一つに○】

(1) 居住地	1. 出雲地域 5. 湖陵地域	2. 平田地域 6. 大社地域	3. 佐田地域 7. 斐川地域	4. 多伎地域
(2) 性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない	
(3) 年齢	1. 10 歳代 5. 50 歳代	2. 20 歳代 6. 60 歳代	3. 30 歳代 7. 70 歳代	4. 40 歳代 8. 80 歳以上
(4) 世帯構成	1. 一人暮らし 2. 高齢者 (65 歳以上) のみの世帯 3. 親族 (配偶者・親・子・孫など) と同居の世帯 4. その他			
(5) 運転免許の保有状況	1. 運転免許証を持っている 2. 運転免許証を持っているが、近々返納する予定である 3. 過去に運転免許証を持っていたが返納した 4. これまでに運転免許証を持ったことがない			
(6) 自動車の保有状況	1. 自分専用の自動車を持っている 2. 家族と共同で使える自動車がある 3. 世帯で自動車を持っていない			
(7) 自宅の最寄りの駅・バス停	駅名 () 徒歩で約 () 分 バス停名 () 徒歩で約 () 分 ※名称がわからない場合は、時間だけでもご記入ください。			

■ 普段の外出について

あなたの主な外出先、頻度及び移動手段などについて、目的別にお答えください。

問2. 日常的な通院について → 日常的に通院していない方は、問3.へ

(1) 通院先の名称または所在地	() 【回答例】 ○○病院、出雲市○○町など			
(2) 日常的な通院の頻度 【どれか一つに○】	1. 週に5日以上 4. 月に1~3日	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	5. 年に数日
(3) 移動手段 【あてはまるもの全てに○】	1. 自動車 (自分で運転) 3. 鉄道 5. 送迎バス 7. まめながタクシー 9. 自動二輪・原付 11. 徒歩			
	2. 自動車 (乗せてもらう) 4. バス 6. タクシー 8. 福祉・介護サービス 10. 自転車 12. その他 ()			

(4) 通院のために自宅を出る時刻と帰る時刻	自宅を出る時刻 午前・午後 () 時頃 自宅に帰る時刻 午前・午後 () 時頃
(5) 通院先を出てから帰宅するまでの主な立ち寄り先	通院先→ () →自宅 ※どこにも立ち寄らない場合には、記載不要です。

(6) あなたは、通院に不便を感じていますか。【どちらかに○】

1. 不便を感じている	2. 不便を感じてはいない
-------------	---------------

(7) (6)で「不便を感じている」を選んだ方におたずねします。不便を感じている理由をお答えください。【あてはまるもの全てに○】

1. 通院先までの移動手段がないから 2. 移動のための運賃・料金が安いから 3. 移動の際に利用する車両の乗り降りが大変だから 4. その他 ()
--

問3. 食料品や日用品の買い物について → 自分で食料品や日用品の買い物をしていない方は、問4.へ

(1) 買い物先の名称または所在地	() 【回答例】○○スーパー△△店、出雲市○○町など
(2) 日常的な買い物の頻度【どれか一つに○】	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~3日 5. 年に数日
(3) 移動手段【あてはまるもの全てに○】	1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(乗せてもらう) 3. 鉄道 4. バス 5. 送迎バス 6. タクシー 7. まめながタクシー 8. 福祉・介護サービス 9. 自動二輪・原付 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他 ()
(4) 買い物のために自宅を出る時刻と帰る時刻	自宅を出る時刻 午前・午後 () 時頃 自宅に帰る時刻 午前・午後 () 時頃
(5) 買い物先を出てから帰宅するまでの主な立ち寄り先	買い物先→ () →自宅 ※どこにも立ち寄らない場合には、記載不要です。

(6) あなたは、食料品や日用品の買い物に不便を感じていますか。【どちらかに○】

1. 不便を感じている	2. 不便を感じてはいない
-------------	---------------

(7) (6)で「1. 不便を感じている」を選んだ方におたずねします。不便を感じている理由をお答えください。【あてはまるもの全てに○】

1. 買い物先までの移動手段がないから

2. 移動のための運賃・料金が高いから
 3. 移動の際に利用する車両の乗り降りが大変だから
 4. 買い物した荷物を運ぶのが大変だから
 5. その他 ()

問4. 通勤・通学について → 通勤・通学をしていない方は、問5.へ

(1) 通勤・通学先の所在地	() 【回答例】出雲市〇〇町、松江市、大田市など
(2) 通勤・通学の頻度 【どれか一つに〇】	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~3日 5. 年に数日
(3) 移動手段 【あてはまるもの全てに〇】	1. 自動車（自分で運転） 2. 自動車（乗せてもらう） 3. 鉄道 4. バス 5. 送迎バス 6. タクシー 7. まめながタクシー 8. 福祉・介護サービス 9. 自動二輪・原付 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他 ()
(4) 通勤・通学のために自宅を出る時刻と帰る時刻	自宅を出る時刻 午前・午後 () 時頃 自宅に帰る時刻 午前・午後 () 時頃
(5) 通勤・通学先を出てから帰宅するまでの主な立ち寄り先	通勤・通学先→ () →自宅 ※どこにも立ち寄らない場合には、記載不要です。

問5. 通院、買い物及び通勤・通学以外の目的での定期的な外出（通いの場、習い事、趣味など）について

(1) 最もよく行く目的地の名称 または所在地	() 【回答例】〇〇コミセン、出雲市〇〇町等
(2) 外出の頻度 【どれか一つに〇】	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~3日 5. 年に数日
(3) 移動手段 【あてはまるもの全てに〇】	1. 自動車（自分で運転） 2. 自動車（乗せてもらう） 3. 鉄道 4. バス 5. 送迎バス 6. タクシー 7. まめながタクシー 8. 福祉・介護サービス 9. 自動二輪・原付 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他 ()
(4) 外出のために自宅を出る時刻と帰る時刻	自宅を出る時刻 午前・午後 () 時頃 自宅に帰る時刻 午前・午後 () 時頃
(5) 外出先を出てから帰宅するまでの主な立ち寄り先	外出先→ () →自宅 ※どこにも立ち寄らない場合には、記載不要です。

■ 出雲市内の鉄道、バス及びタクシーの利用状況について

問6. あなたは、普段、JR 山陰本線と一畑電車をあわせてどれくらい利用していますか。【どれか一つに○】

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に1~3日 | 5. 年に数日 | 6. 利用することはない |

問7. 問8で、1から5までのいずれかを選んだ方におたずねします。
よく利用する区間をお答えください。【利用回数が多い順に3つまで回答】

- | |
|-----------------|
| () 駅から () 駅まで |
| () 駅から () 駅まで |
| () 駅から () 駅まで |

問8. 問8で、「6. 利用することはない」を選んだ方におたずねします。
JR 山陰本線や一畑電車を利用しない理由は何ですか。【あてはまるもの全てに○】

- | |
|--|
| 1. 駅までの移動手段がないから |
| 2. 乗りたい時刻に運行していないから |
| 3. 運賃が高いから |
| 4. 駅の階段の昇り降りが不便だから |
| 5. JR 山陰本線や一畑電車で行くことのできる場所に出かける用事がないから |
| 6. その他 () |

問9. あなたは、出雲市内を走っているバスをどれくらい利用していますか。
【どれか一つに○】

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に1~3日 | 5. 年に数日 | 6. 利用することはない |

問10. 問9で、1から5までのいずれかを選んだ方におたずねします。
よく利用する区間をお答えください。【利用回数が多い順に三つまで回答】

- | |
|---------------------|
| () バス停から () バス停まで |
| () バス停から () バス停まで |
| () バス停から () バス停まで |

問11. 問9で、「6. 利用することはない」を選んだ方におたずねします。
出雲市内を走っているバスを利用しない理由は何ですか。【あてはまるもの全てに○】

- | |
|---------------------|
| 1. バス停が遠いから |
| 2. 乗りたい時刻に運行していないから |

- 3. 運賃が高いから
- 4. 車両の乗り降りが大変だから
- 5. 自動車、タクシー、家族や知人による送迎など、他の交通手段を利用するから
- 6. バスで行くことのできる場所に出かける用事がないから
- 7. その他 ()

■ 出雲市内のバスの満足度や改善点について

問12. あなたは、出雲市内のバスについて、どのように感じていますか。
【それぞれ、どれか一つに○】

	満足	どちらか といえば 満足	わから ない	どちらか といえば 不満	不満
(1)乗降場所（駅・バス停）ま での距離	1	2	3	4	5
(2)次の便までの待ち時間	1	2	3	4	5
(3)時刻どおりの運行	1	2	3	4	5
(4)始発便の時刻	1	2	3	4	5
(5)最終便の時刻	1	2	3	4	5
(6)運行している時間帯	1	2	3	4	5
(7)目的地までの所要時間	1	2	3	4	5
(8)運賃・料金	1	2	3	4	5
(9)他の移動手段との乗り換え	1	2	3	4	5
(10)車両の乗り降りしやすさ	1	2	3	4	5
(11)乗降場所周辺の駐車場や 駐輪場の整備状況	1	2	3	4	5
(12)車内の混雑度	1	2	3	4	5
(13)利用方法のわかりやすさ	1	2	3	4	5
(14)キャッシュレス決済への 対応状況	1	2	3	4	5
(15)緊急時の周知方法	1	2	3	4	5
(16)時刻や路線情報の取得の しやすさ	1	2	3	4	5
(15)総合的な満足度	1	2	3	4	5

問13. あなたは、バスが不便なために、「生活に支障をきたしていること」や「我慢している活動」がありますか。【どちらかに○】

1. ある	2. ない
-------	-------

問14. 問 17 で「1. ある」を選んだ方におたずねします。その内容を具体的にお答えください。

()
「地域の活動に参加したいが、帰り手段がないため諦めている」「自分で買い物に行く手段がないため、近所の方に買い物をお願いしている」など

問15. あなたは、どのような点が改善されたら、今よりもバスを多く利用するようになると思いますか。【次の(1)~(7)について、それぞれ、改善内容を具体的に記入】

項目	改善内容
(1)バス停までの距離を短くする	最寄りのバス停まで、徒歩で ()分以内に行くことができるようにする
(2)便数を増やす	()間を、 1日あたり ()往復運行する
(3)始発時刻を早くする	()バス停の ()方面への始発時刻を、午前・午後 ()時()分頃にする
(4)終発時刻を遅くする	()バス停の ()方面への終発時刻を、午前・午後 ()時()分頃にする
(5)所要時間を短縮する	()間を、 ()分で運行する
(6)乗り換えの待ち時間を短縮する	()バス停での ()から ()への乗り換えを ()分以内にする
(7)バス停の環境を改善する	※「○○バス停に屋根を整備する」「△△駅の駐輪台数を増やす」など ()
(8)時刻や経路等に関する情報を取得しやすくする	※「運行状況を SNS 等で配信する」「時刻や経路を検索できるようにする」など ()

■ 日常生活における移動手段に関する将来の不安などについて

現在、自動車を運転している方も、高齢になれば運転が困難になるなど、今は必要でなくても将来は鉄道やバスなどが必要になる可能性があります。

このことを踏まえ、以下の各問にお答えください。

問16. 現在、自動車を使えないときや自分で移動できないときに、あなたを自動車で送迎してくれる人はいますか。【あてはまるもの全てに○】

1. 同居する家族が送迎してくれる
2. 同居していない家族（子や親戚など）が送迎してくれる
3. 友人・知人が送迎してくれる
4. 福祉・介護サービスを利用している
5. 送迎してくれる人はいない

問17. あなたは、日常生活における将来（5年から10年くらい先まで）の移動手段について、不安を感じていますか。

【どれか一つに○】

1. とても不安である
2. 少し不安である
3. どちらでもない
4. あまり不安はない
5. 不安は全くない

問18. 将来（5年から10年くらい先まで）、自動車が運転できなくなったときに鉄道やバスが廃止されていた場合、あなたは、通院や日常生活の買い物のために、どのような手段で行くと思いますか。【あてはまるもの全てに○】

1. 家族にその都度、送迎を頼む
2. 近所の人にその都度、送迎を頼む
3. タクシーを利用する
4. 自転車や徒歩の範囲の通院・買物にとどめる
5. 宅配と訪問診療だけにして外出を控える
6. 福祉や介護のサービスを利用する
7. その他（ ）

問19. 運転免許証の自主返納者に対する支援として、あなたは、どのような取組が役に立つと思いますか。【あてはまるもの全てに○】

1. 鉄道やバス・タクシー等の運賃や料金の負担軽減
3. 鉄道やバス・タクシー等の運賃や料金の負担軽減以外の特典付与（商品割引など）
4. 移動販売や宅配サービスなど、買い物支援の充実
5. 役に立つ取組はない
6. その他（ ）

■ 出雲市内の公共交通の維持・確保について

鉄道やバス・タクシーなどの公共交通は、自分で自動車を運転できない人（主に児童・生徒や高齢者の方）の移動を支える重要な役割を果たしています。一方で、その維持のために、出雲市では市民一人当たり年間約〇円、総額で百万円（令和2年実績）を支出しています。

このことを踏まえ、以下の各問にお答えください。

問20. あなたは、出雲市内の公共交通を維持・確保するための市の負担額について、どのように思いますか。【どれか一つに○】

1. 多すぎる

2. やや多すぎる

3. 妥当

4. やや少なすぎる

5. 少なすぎる

問21. 出雲市内の公共交通を維持・確保するため、今後の市の負担額と公共交通のサービス水準（運行方法・便数、時刻及び運賃など）のあり方について、あなたはどのように考えますか。【どれか一つに○】

1. 現状の市の負担額・サービス水準は妥当である

2. 市の負担額を今よりも増やし、サービス水準を向上すべき

3. 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上すべき

4. サービス水準を維持しつつ、運賃を値上げして市の負担額を抑制すべき

5. サービス水準を落として、市の負担額を抑制すべき

6. その他（

）

問22. より多くの人に公共交通を利用してもらうために、出雲市や市内の交通事業者が実施すべき取組がありましたら、自由にお答えください。

例：

問23. 出雲市内の公共交通について、ご意見やご要望がありましたら自由にお答えください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。